ふるさと納税の健全な発展を目指す自治体連合

ふるさと納税活用事例集

平成30年11月

は　じ　め　に

「ふるさと納税」は、自分が生まれ育った「ふるさと」や、応援したい「ふるさと」への想いを寄付という形にする仕組みとして、平成２０年に創設されました。

「ふるさと」への応援の気持ちを寄付と税制によって実現する画期的な仕組みが、ふるさと納税です。平成２０年度の導入以降、自治体の様々な知恵と工夫により、当初約８０億円であった寄付額が、平成２９年度には３，６００億円を超えるまで拡大しました。また、平成２３年の東日本大震災以降、日本各地の被災地支援にこの制度が活用され、ふるさとの復興を支えてきました。

ふるさと納税は、寄付者にとって、自らの意思で納税先や使い道を選ぶことができる制度であるとともに、地域間の協力関係を理解する都市の寛容と地方の感謝に支えられる、これまでにない連帯の税制です。

地方からの提案で始まったこの制度は、地方自治体が中心となって健全な発展を目指すべきものであり、各自治体の知恵と工夫により、寄付者の想いに沿った政策の実現に寄付金を活用し、真の地方創生に結び付けることが重要です。

ふるさと納税制度本来の趣旨・理念を全国に伝えるため、志を同じくする自治体が集まり平成２９年５月に設立した「ふるさと納税の健全な発展を目指す自治体連合」では、寄付金を活用し地域活性化につなげた優良事例の表彰やシンポジウムの開催、また、「ふるさと納税月間」の創設および共同啓発活動など、制度本来の理念や趣旨を全国に広めるための様々な活動を実践してきました。

このたび、ふるさと納税自治体連合では、ふるさと納税制度の発展と普及に資することを目的に、参加自治体におけるふるさと納税の活用事例をとりまとめました。全国の自治体が優良事例について学び合い、ふるさと納税を地域の発展に役立てるための参考として活用いただくとともに、寄付者の皆様にふるさと納税制度の意義をご理解いただくための一助となれば幸いです。

目　次

ふるさと納税の健全な発展を目指す自治体連合のご紹介 …… 4
ふるさと納税の健全な発展を目指す自治体連合の活動 …… 5

ふるさと納税活用事例集

北海道
ふるさと納税で沼田町を元気に …… 沼田町 8
「写真の町」ひがしかわ株主制度 …… 東川町 9
ふるさと納税で子供の成長と子育て支援 …… 増毛町 10
ふるさと納税で魅力ある農業学校づくり …… 遠別町 11
ふるさと納税を活用した子育て支援で人口増 …… 上士幌町 12
町の産業活性化をふるさと納税で叶えたい …… 池田町 13
ふるさと納税で地域を活性化 …… 足寄町 14

青森県
避難小屋を修復して登山者の安全を守りたい …… 深浦町 15

岩手県
ラグビーワールドカップ2019™を契機とした観光客受入れ …… 岩手県 16

秋田県
雪国の課題をふるさと納税で解決したい …… 湯沢市 17

山形県
山形県の農産物をふるさと納税で応援 …… 山形県 18
みんなで日本一おっきな三代目鍋太郎をつぐっぺ …… 山形市 19
米沢のまちづくりにふるさと納税を活用 …… 米沢市 20
将棋のまち、天童の未来に向けた新たな一手 …… 天童市 21
ふるさと納税でさらなる子育て支援 …… 舟形町 22

茨城県
ふるさと納税で子育てにやさしい都市（まち）づくり …… 古河市 23
「御船祭」臨時開催を皆さまの御協力で …… 北茨城市 24
緑化事業　四季の里公園の維持管理 …… 守谷市 25
利根川大花火大会バスツアー開催！ …… 境町 26

栃木県
安心と夢ある未来に続くまちづくりのために …… 那須町 27

群馬県
花と湯の町なかのじょう花のまちづくり …… 中之条町 28

石川県
不妊治療費への独自支援「子宝支援事業」 …… 輪島市 29

福井県
学生たちの希望をふるさと納税で叶えたい …… 福井県 30
中池見の保全・活用 …… 敦賀市 31
小浜育ちのサバによる鯖文化の新たな展開 …… 小浜市 32
目指そう！世界遺産「白山平泉寺」 …… 勝山市 33
ふるさと納税を活用し新成人に眼鏡を贈呈 …… 鯖江市 34
市民活動サポート助成金事業 …… あわら市 35
市民の願いをふるさと納税で実現 …… 坂井市 36
「住んでみたい」まちづくりを目指してます …… 永平寺町 37
ふるさと納税をまちそだてに …… 池田町 38
ふるさと納税で活力の花ひらくまちへ …… 南越前町 39
高校生の通学支援を補助して定住促進へ …… 越前町 40
がんばる美浜人応援事業 …… 美浜町 41
新たな挑戦バリアフリー海水浴場 …… 高浜町 42
小中学校の備品をふるさと納税で整備 …… 若狭町 43

山梨県
生み・育むことにやさしいまちづくり …… 甲州市 44
長野県
地域資源を活用して魅力的な白馬高校を守り創る …… 白馬村 45
岐阜県
県内唯一のプロスポーツチームFC岐阜を応援！…… 岐阜県 46
郡上カンパニープロジェクト推進事業 …… 郡上市 47
子どもたちの笑顔あふれる教育環境 …… 笠松町 48
静岡県
漁業活性化のための稚貝・稚魚放流事業 …… 西伊豆町 49
愛知県
遊園地／ランチで子どもの笑顔いっぱい …… 碧南市 50
京都府
こころのふるさと京都の文化財を未来に伝える …… 京都府 51
大阪府
未来を担う子どもたちの笑顔がみたいから …… 泉佐野市 52
兵庫県
貧困の子どもたちに温かいごはんを …… 兵庫県 53
いつかきっと帰りたくなる街づくり …… 淡路市 54
奈良県
おたっしゃ下市　笑いのつどい …… 下市町 55
和歌山県
子供たちの明るい未来のために …… 有田市 56
鳥取県
智頭町から始まる「いのちね」の挑戦～『森の産院』事業～ …… 鳥取県 57
琴浦町の２大祭り「さくら祭り」と「白鳳祭」 …… 琴浦町 58
岡山県
生きた化石カブトガニ　命を未来へ繋ぐために …… 笠岡市 59
リトレーニングが引退馬の未来を拓く …… 吉備中央町 60
徳島県
コウノトリ周辺整備事業 …… 鳴門市 61
高知県
ふるさとの文化と子どもたちを守り育てる …… 高知県 62
築七十年の日本家屋を改装したゲストハウス …… 越知町 63
魅力ある教育環境づくり町営塾「じゆうく。」の挑戦 …… 四万十町 64
佐賀県
ふるさと納税で魅力あるまちづくり …… 上峰町 65
長崎県
大村の農業を新たに担う「担い手」づくり …… 大村市 66
平戸市の高校生に国際交流のチャンスを！…… 平戸市 67
熊本県
20年前の旧日本海軍の遺跡を保存活用 …… 錦町 68
健康で幸福な町あさぎり町 …… あさぎり町 69
大分県
ユネスコエコパークを活用したまちづくり …… 佐伯市 70
宮崎県
一般財団法人の地域づくり活動を推進 …… 新富町 71
鹿児島県
地域資源を活かして陸上競技の聖地に …… 大崎町 72

ふるさと納税の健全な発展を目指す自治体連合のご紹介

ふるさと納税の健全な発展を目指す自治体連合とは

ふるさとの納税の本来の趣旨・理念を全国に伝えるため、志を同じくする自治体が集まり、平成２９年５月に設立した組織です。
平成３０年１１月１日現在、７４自治体が参加しています。

ふるさと納税自治体連合が目指すところ(平成29年5月設立趣意書より)

- 連合参加の自治体は、ふるさと納税制度を知恵と工夫をもって活用し、地域の活性化につなげます。
- 寄付者の「地方を応援したい」という想いに応えられる施策に活かします。また、寄付者の目を意識し、寄付の使い道、効果などの情報提供に努めます。
- ふるさと納税制度は、「都市の寛容」と、「地方の感謝」の上に成り立っていることを忘れず、都市の理解を得られる運用を行います。
- 長い目で寄付文化を醸成し、地方と都市が共に発展する制度となるよう、運用改善に努めます。
- ふるさと納税制度の趣旨、理念を再認識して自治体同士が学び合い、啓発を行うことにより制度の健全化に取り組み、連合の活動に賛同する自治体を増やします。

ふるさと納税の本来の趣旨・目的

- 日本では、高校や大学卒業と同時に、多くの若者が地方から大都市へと出ていきます。地方の自治体が保育や教育、医療費などの行政サービスを負担して育てたふるさとの若者が、進学や就職で都市へと移り住み、社会人となって都市に租税を納めます。世代を通してみると、地方と都市の租税負担と行政サービスのバランスは大きく崩れています。
- このような構造の中、自分が生まれ育った「ふるさと」や、応援したい「ふるさと」へ想いを届ける仕組みとして、平成 20 年にふるさと納税制度が導入されました。

ふるさと納税の意義

○納税者主権の促進

寄付者は自分の意志で納税先を選択することを通して、寄付金が自治体の政策にどのように活用されているのか関心を持ち、積極的に関与できる機会となります。

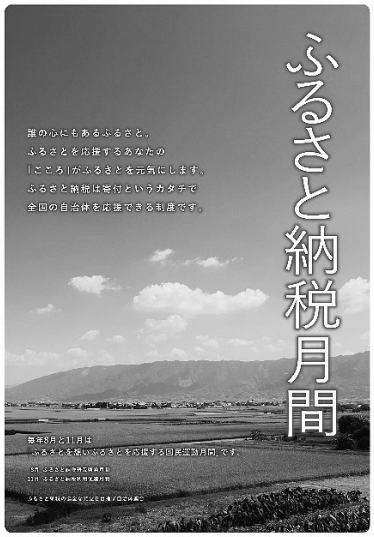
○自治体政策の向上

自治体は、寄付を受けるためそれぞれの魅力をアピールし、寄付をどのように使いどのような成果を実現するか発信することにより、互いに切磋琢磨します。

ふるさと納税の健全な発展を目指す自治体連合の活動

ふるさと納税制度の理念･趣旨の啓発

ふるさと納税制度の健全な発展を目指し、ふるさと納税制度の理念や趣旨について広く伝えるための活動をしています。



○「ふるさと納税月間」における普及・啓発活動

ふるさと納税の理念や趣旨についてより広く周知を図り、利用のすそ野を広げるため、８月と１１月を「ふるさと納税月間」と定め、共同で普及啓発活動を実施しています。

○「ふるさと納税の未来を考えるシンポジウム」の開催

ふるさと納税制度本来の理念・趣旨や自治体連合の活動を都市、地方を問わず広く全国に発信するため、「ふるさと納税の未来を考えるシンポジウム」を開催しています。

○「ふるさと納税応援メッセージ」全国コンクールの実施

ふるさとを応援したいという寄付者の気持ちに応え、寄付を地域活性化につなげるという制度本来の趣旨を広く国民に伝えるため、寄付者からの応援メッセージを全国募集し、優秀作品等を選考・表彰しています。

ふるさと納税に関する優良活用事例の研究･顕彰

○ふるさと納税優良事例の表彰

ふるさと納税を活用して地域の活性化につなげた優良事例を全国の自治体に広げるため、全国から活用事例を募集し、優れた取組みを表彰しています。

○「ふるさと納税活用事例集」の作成

寄付の使い途や事業成果を広く発信するため、「ふるさと納税活用事例集」を作成しています。

自治体連合参加自治体間や国との情報交換

○担当課長会議の開催

自治体連合参加自治体の担当課長が一堂に会して、自治体連合の具体的な事業計画等を検討しています。また、各参加自治体がふるさと納税制度運用等に関する議題を提起して自治体間で議論しています。

○国や関係事業者との意見交換

国やポータルサイト運営事業者等との意見交換を実施しています。

ふるさと納税活用事例集

北 海 道

沼　田　町

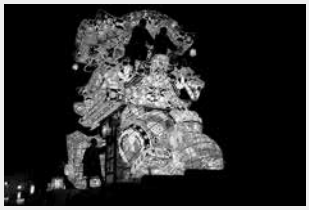
沼田町は北海道のほぼ中央に位置しており、豊かな自然につつまれた町です。北海道唯一の喧嘩あんどんである「夜高あんどん祭り」では、優雅で勇壮な大型あんどん同士が豪快にぶつかり合い、夏の夜空を彩ります。

〔人口〕　３，１８３人（H27.10.1）

〔面積〕　２８３．３５㎢

〔ふるさと納税寄付額（Ｈ２９年度）〕

１９，６９９件　３００，４１７千円



「夜高あんどん祭り」

北海道の三大あんどん祭りの一つに数えられ、唯一の喧嘩あんどんは迫力満点です。

「雪中米」

収穫されたお米を自然の風で乾燥させ、出荷直前に籾摺りを行います。夏は雪を利用し貯蔵をしています。

「トマト」

たっぷりと太陽を浴びたトマトを「ケチャップ」や「ジュース」で堪能することができます。

「明日萌の里」

朝の連続テレビ小説「すずらん」の舞台となった「明日萌駅」が昭和初期の雰囲気のままで残っています。

ふるさと納税で沼田町を元気に

沼田町では寄附金を町民が豊かに元気よく暮らせる重要な事業に活用しています。

一つに「頑張る高校生応援手当」があります。町内の高校の閉校に伴い、町外の高校へ通学する事となったことから、通学に係る費用を一部助成する事業に活用されます。

町在住高校生

暮らしの安心センター

「暮らしの安心センター・まちなかほっとタウン整備」にも活用しています。平成 29 年度にオープンした新施設に充当しました。病院やカフェなど、地域の方の拠りどころとなる「暮らしの安心センター」とスーパーなどの商業施設が一体となった「まちなかほっとタウン」の整備を行い、誰もが安心して生活できるまちづくりを目指していきます。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

「安心で暮らしやすいまちづくりを追及する事業」では小中学生の医療費助成、高齢者世帯等や子育て世帯への灯油助成や町外へ通学する高校生への交通費助成など、町民が安心して暮らせる支援事業に充当致しました。

また、病院やデイ・サービスセンターが一体となる「暮らしの安心センター」の整備など医療・福祉・子育て等の事業に活用され、町民一人ひとりの暮らしが守られています。

応援しています！～寄付者の声～

- 沼田町の特産品はどこよりもおいしく、満足しています。豊かな自然や伝統行事を守り続けてほしいです。
- 沼田町へはまだ行ったことがないですが、「あんどん祭り」など見てみたいと思っています。

感謝しています！～住民の声～

- 全国の方の応援によって私たちの生活が支えられています。こどもたちの未来や、高齢者の方、町民全員が安心して、元気に暮らしていけるまちづくりを続けたいです。

北 海 道

東　川　町

1985 年、東川町は「自然」と「人」、「人」と「文化」、「人」と「人」それぞれの出会いの中に感動が生まれる「写真の町」を宣言し、写真文化を通じて潤いと活力のある町づくりに取り組み、写真文化と世界中の人々を繋ぐ「写真文化首都」の創造を目指しています。

〔人口〕　８，１１１人（H27.10.1）

〔面積〕　２４７㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

１１，５５９件　２３０，９０７千円

「まいにちが、天然水」

東川町には、上水道がありません。蛇口をひねればミネラルたっぷりの天然水。ちょっと贅沢な気分です。

「遊び場は大自然」

大雪山国立公園旭岳に抱かれるこのまちは、巡る四季の中で、さまざまな楽しみが溢れています。

「町ごと、おいしい」

土地が豊かだからいい農産物がとれる。飲食店がたくさんあるのは、きっと偶然ではありません。

「ゆっくりと生きる」

豊かな自然と美しい景観を持つ東川らしい暮らし方。恵まれた環境の中で人々の暮らしが、育まれています。

「写真の町」ひがしかわ株主制度

町を応援する方を「株主」とし、共にまちの未来を育むことを趣旨に「写真の町」ひがしかわ株主制度（ふるさと納税）に取組んでいます。株主制度では、ひがしかわ株主総会をはじめとしたまちづくりへの参加等を通じて、株主とのつながりから町を活性化させ、まちづくりへの成果と共に享受することができる循環した東川町応援制度となっています。

ひがしかわ株主総会　植樹活動

映画「写真甲子園 0.5 秒の夏」

写真文化首都「写真の町」東川町で開催される高校生写真部の日本一を決める全国大会「写真甲子園」が、平成 29 年 11 月から全国公開されました。全国 44 箇所の映画館で上映され、多くの皆様に映画館に御来場いただきました。映画制作から上映にかかる経費の一部に、「写真甲子園映画制作支援事業」でいただいた投資（ふるさと納税）を活用いたしました。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

未来活躍するオリンピック選手を育成することを目的にプロサッカーチームであるコンサドーレ北海道のジュニアユース「北海道コンサドーレ東川U-12」の活動を支援し、地域の子どもたちを中心に、コンサドーレ教育プログラムの実施、スポーツパフォーマンスの向上、大雪山文化及びクロスカントリーをはじめとしたウィンタースポーツ育成拠点の推進活動を実施し、本事業にかかる経費の一部に「オリンピック選手育成事業」を活用いたしました。

応援しています！～寄付者の声～

- 「写真文化」の首都として、これからも先進的なまちづくりを進めてください。がんばれ！東川！

感謝しています！～住民の声～

- まちの賑わいがあり、東川はいいまちだという声が増えてきました。この町に住んでいることを誇らしく思います。

北海道
増　毛　町

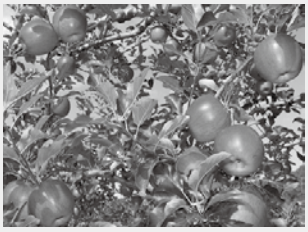
増毛町は北海道の大自然を堪能できる山岳や海岸の景観、歴史的建造物が点在する自然と歴史が魅力的な町です。
最北の酒蔵で造る日本酒や、最北の果樹産地で収穫される果物、日本海で水揚げされる甘えびやタコなどの海産物など、どれも自慢の特産品です。

〔人口〕　４，４９７人（H27.10.1）
〔面積〕　３６９．７㎢
〔ふるさと納税寄付額（Ｈ２９年度）〕
４２，１５３件　５５１，１７３千円

「旧増毛駅」
２０１６年１２月に廃線となりましたが、２０１８年４月に改修し、モニュメントも新たに設置しました。

「國稀酒造」
日本最北の酒蔵で、秀峰暑寒別岳の伏流水を使った辛口の酒は、ファンをもつほどの人気です。

「甘えび」
増毛町の特産品の代表。甘えび特有の甘さが引き立つ刺身と、頭を使った味噌汁は絶品です。



「りんご」
日本最北の果樹園で収穫されるりんごは、明治１１年頃から栽培されている伝統的な果物です。

ふるさと納税で子供の成長と子育て支援

増毛町では、ふるさと納税でご寄付いただいたうち、「子ども・子育て・教育に関する事業」に集まった寄付金を財源として、子ども達の成長や教育、子育て支援を行っています。増毛町独自で中学生までの医療費の補助や、小学校、中学校、高校毎に、必要な事業に活用しています。

運動会で育む様子

増毛町立あっぷる保育所

保育料の助成事業について、平成29年度までは、第２子は半額、第３子以降は無料としておりましたが、平成30年度より、全ての児童を対象に、保育所や幼稚園の保育料の完全無償化を実施し、保護者の負担を減らし、より子育てしやすい環境を整えています。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

「子ども・子育て・教育に関する事業」では、子どもの健康を考え、中学生までの医療費を商工会商品券で還元する事業や、新小学１年生にランドセル（ナップランド）の贈呈、中学校入学時にカバンとジャージの贈呈、隣町の留萌市内の高校への通学費の半額補助など、子ども達の年齢に合わせて必要な事業に活用しています。更に、平成30年度から、保育所や幼稚園の保育料の完全無償化を実施し、子育て支援に力をいれています。

応援しています！～寄付者の声～

- 応援しています！子供達のための子育て支援を！
- こどもたちの笑顔につながるようにご活用ください。

感謝しています！～住民の声～

- 皆様に応援していただき、子育ての負担が軽減されたことで、不安視していた子ども達の進学などの将来についても少し余裕をもって考えることができそうです。

北 海 道

遠　　別　　町

日本最北の水稲地である遠別町は、良質なもち米や野菜をはじめとした農業、酪農、漁業、林業の一次産業が盛んな自然豊かな町です。

秘湯感が漂う「旭温泉」はオレンジ色と黒褐色の２種類の泉質を楽しめる温泉や「日本最北の水田」を各地から訪れています。

〔人口〕　２，８０６人（H27.10.1）

〔面積〕　５９０．８㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

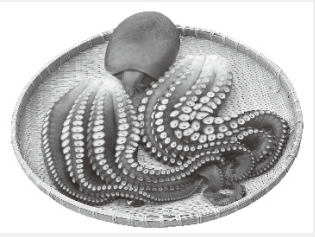
８，３５７件　１４０，４９７千円

「日本最北の水稲地」

稲作の北限地として水稲栽培が行われ、生産されるもち米は品質の良さが評価されています。

「旭温泉」

周りを山と木々で囲まれる秘湯の雰囲気と２つの泉質を楽しめる温泉宿です。



「煮タコ」

水揚げされた大きなミズダコは、すぐに旨みを閉じ込め、大きさと味の良さにファンが多い。

「北吹雪」

遠別産のもち米「はくちょうもち」を１００％使用の純米酒。優しい香りとまろやかな口当たり。

ふるさと納税で魅力ある農業学校づくり

遠別農業高校は、町にとって農業の未来を担う大切な高校ですが、近年、入学者が減少しています。この状況を打開するため、魅力的な学校づくりの一環として、田んぼや畑の状態観測などの農業分野にドローンを活用するため、調査研究を新に行うこととし、ふるさと納税を活用して魅力ある学校づくりを推進しています。

圃場でのドローン実習

ふるさと納税へのお礼のメッセージ

その他に、タブレット端末を整備して生徒へ貸与し教育情報化も推進しています。

取組の進捗状況については、ウェブサイト等に掲載するほか、札幌市内のアンテナショップでも情報発信しています。また、寄附者に対しては、事業報告を行うとともに、高校の生徒からのお礼のメッセージを届けています。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

ドローン実習の実施やタブレット端末を購入することが可能となり、魅力ある学校づくりを推進することができました。また、町外への情報発信に加え、札幌市内に「遠別農業高校アンテナショップ」を開設し、高校及び町の取組みをＰＲしており、地元のメディアでも大きく取り上げられました。

その結果、高校への入学者が毎年着実に増加し、平成２９年度には、ふるさと納税をきっかけに県外出身者が入学しました。町内で農業に従事する卒業生もおり、町の産業活性化にもつながっています。

応援しています！～寄付者の声～

- ドローンを有効活用できれば、農業の可能性も広がると思います。
- 「遠農高活性化プロジェクト」応援しています。色々な困難があると思いますが、くじけず頑張ってください。

感謝しています！～住民の声～

- ふるさと納税のおかげで高校だけでなく地域が活性化しました。ありがとうございます。
- 学校の取組みがすごく楽しそうで地元の高校ではなく、遠別農業高校へ進学しました。

北 海 道

上　士　幌　町

上士幌町は北海道十勝地方の北部に位置し、東京 23 区合計よりも広い面積約 700 ㎢を有し、その約 77%を山林が占めるという自然豊かな町です。

産業は大自然の恩恵を受けた畑作、酪農や林業などの第一次産業が盛んで、日本一広い公共育成牧場のナイタイ高原牧場があります。

〔人口〕　　４，７６５人（H27.10.1）

〔面積〕　　６９４．２３㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

８９，８５９件　１，６７４，８６２千円

「北海道バルーンフェスティバル」

上士幌町は日本で初めて、熱気球の競技大会が開催された町としても有名です。

「ナイタイ高原牧場」

総面積約1,700ha（東京ドーム３５８個分）を誇る日本一広い公共育成牧場です。

「タウシュベツ川橋梁」

旧国鉄士幌線のアーチ橋です。湖の水位変動により見えなくなるため「幻の橋」と呼ばれています。

「十勝ナイタイ和牛」

上士幌町内で子牛の生産から肥育までを完結し、その中でも４等級、５等級の肉が「十勝ナイタイ和牛」です。

ふるさと納税を活用した子育て支援で人口増

上士幌町では、寄附金を子育て少子化対策に活用するため、平成 25 年度に全国に先駆けて条例を制定し、「ふるさと納税子育て少子化対策夢基金」を設置しました。

夢基金を活用している取り組みとして、町の認定こども園「ほろん」において、保育料を０歳児から完全無償としています。

「ほろん」では外国語講師の配置や、

外国語講師による英語遊びの時間

水遊び、焚き火などができる「ほろんの森」

体験学習の場「ほろんの森」の整備など教育の質を高めるための取り組みにも基金が活用されています。

また、小学校では町単独の教員を採用することによる少人数学級の実現や、音楽・体育といった専科の教員も配置されております。その他には、子育て世帯の住宅購入費の助成や 18 歳までの医療費無償化にも活用されています。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

「ふるさと納税子育て少子化対策夢基金」を活用した支援策は、子育て世代の暮らしやすさ、働きやすさに繋がっているほか、移住希望者の後押しともなっています。その結果、1955 年の 13,608 人をピークに右肩下がりに減り続けた町の人口が、ここ３年で 136 人の増加に転じており、2018 年の７月には人口が 5,000 人に回復しました。

応援しています！～寄付者の声～

- 上士幌の広大な景色が大好きです。人口が増えたと聞き、とても嬉しく思います。
- 子育てに優しい町と聞いています。　全国のお手本となるような町づくりをこれからも応援しています。

感謝しています！～住民の声～

- 子育て環境が整備されたことで、安心して働くことができるようになり、感謝しています。
- 福祉バスが走るようになり、町での移動が快適になりました。

北 海 道

池　田　町

池田町は、十勝ワインやいきがい焼き（陶器）などのユニークな町営事業を導入しています。また、スポーツでも日本で初めてカーリングを導入した町としても知られています。

十勝ワインをはじめ、いけだ牛や十勝産小豆などの食材も評価が高く、地産地消にこだわるグルメの町です。

〔人口〕　６，８８２人（H27.10.1）

〔面積〕　３７１.９㎢

〔ふるさと納税寄付額（Ｈ２９年度）〕

４３，１７６件　６２８，２６６千円

「ワイン城」

正式名称は池田町ブドウ・ブドウ酒研究所。ヨーロッパ中世の古城を模した施設は町のシンボルです。

「DCTgardenIKEDA」

ドリカムの吉田美和が故郷のために貢献したいとの想いから誕生した施設。衣装等が展示されています。

「十勝ワイン」

全国初の自治体経営のワイナリーで、北国の酸味豊かなブドウによる本格辛口のワインが特徴です。

「いけだ牛」

町内一貫肥育の褐毛和牛は、赤身が多く牛肉の中ではコレステロールの低い肉として、ヘルシー志向の方に人気です。

町の産業活性化をふるさと納税で叶えたい

池田町では、ふるさと納税を活用し、町の産業を活性化させることを目的に人材育成や地域資源を活用した農商工連携等の新たな取り組みを支援する補助金を交付しています。

補助メニューとして①人材育成支援事業、②新規起業支援事業、③新製品等開発支援事業、④販路開拓支援事業、⑤デザイン開発支援事業の５つの項目があります。

新規起業のパン屋「ほっこり」

町内の若手がタッグを組む様子

商店街の事業主が高齢となり廃業となるなか、新規起業者が生まれることで町の経済が活性化し、雇用も生まれるので定住のために必要な働く場が町内に出来ました。

デザイン開発でも投資としてなかなか手が出せなかったことが、今回の補助金で促され、パッケージを一新して販売促進に繋がっています。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

町内から無くなって久しかったパン屋さんが復活することができました。地域おこし協力隊と連動したイベントにも積極的に参加してくれ、季節に合わせた商品を提供し、町を盛り上げてくれています。

また、それぞれ事業を行っている若い世代がタッグを組んで、新しい法人を立ち上げ農畜産物に『熟成』という付加価値をつけての販売を展開しています。

応援しています！～寄付者の声～

- 産業振興と豊かな自然の維持に少しでも貢献できればと思っています。
- 特典品のような地域の産業が活発になるよう、応援致します。
- 農畜産業頑張ってください。

感謝しています！～住民の声～

- 自宅を改装してパン屋開業することができました。親子でパンを食べながらのんびりと過ごせる場所にしたいです。
- それぞれに自立したフィールドを持つ仲間が、次世代育成の土台を創るため活動しています。

北 海 道

足　　寄　　町

　足寄町は、北海道十勝の東北部に位置し、1,408.04 ㎢ の広い面積を擁しており、豊かな森林資源と大地を有効に生かした農林業を基幹産業としています。
　町民と共に考え、協力し合うことを基本理念とし、全ての人が「この町に住んで良かった」と思えるまちづくりを進めています。

〔人口〕　　７，２１８人（H27.10.1）
〔面積〕　１，４０８．０４㎢
〔ふるさと納税寄付額（Ｈ２９年度）〕
　　４，５６４件　７３，３３９千円

「オンネトー湖」
阿寒・摩周国立公園内に位置しており、湖面が天候等で色を変えることから五色沼の別名もあります。

「足寄町動物化石博物館」
足寄町で産出された海生哺乳類化石や現生骨格などを展示し、楽しく学べる博物館です。

「螺湾ブキ」
北海道遺産にもなっており、高さが２～３m、茎の直径が１０ｃmにも達するフキです。

「チーズ」
日本一広い町、足寄の大地で自然の恩恵を受けて育った牛から搾った生乳でできたチーズです。

●次代を担う子どもたちを育む事業

　足寄町では、ふるさと納税で集まった寄附金を活用して、保育や学習環境の充実や子供を安心して育てることができる環境づくり、子育て家庭に対する支援に取組んでいます。

足寄町の元気いっぱいな子どもたち

ふるさと納税で地域を活性化

パークゴルフを楽しみながら健康増進！

●高齢者の安心な暮らしを守る事業

　その他にも高齢者や障がい者にやさしいまちづくりや支援を進め、医療従事者の確保、医療機器の充実、医師・看護師等修学支援、災害時の支援対策充実などに用いられています。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

　足寄町に集まった寄附を活用し、花と緑であふれるまちづくりを進めるため森林の適正管理や間伐などによる機能増進、美しい街並みづくりのため花いっぱい運動や公園整備などを行っています。
　また、次世代を担う人材育成のため、町内にある足寄高等学校の支援として部活動備品の購入や学力向上のため公設民営塾の運営なども行っています。

応援しています！～寄付者の声～

・自然と共生する街づくりを応援しています。地域活性化のために頑張ってください。
・子供たちの成長を期待しています。

感謝しています！～住民の声～

・子育てができる環境が整っていることから、子育て世代にとって安心です！ありがとうございます！

青森県

深　浦　町

世界自然遺産“白神山地”と日本海に抱かれた「深浦町」。
県内屈指の漁獲量を誇る天然本マグロや白神山地の麓にある青池など、雄大な自然の恵みを受けながら６次産業化の推進や子育て支援の充実に力を入れています。

〔人口〕　８，４２９人（H27.10.1）
〔面積〕　４８８．８９㎢
〔ふるさと納税寄付額（Ｈ２９年度）〕
５５６件　１３，７４８千円

「天然本マグロ」
県内屈指の水揚げ量を誇る天然本マグロは、脂ののりも良く観光客に大好評です。

「十二湖・青池」
十二湖は世界自然遺産白神山地の麓に位置し、中でも「青池」は神秘的な美しさです。

「日本一の大イチョウ」
樹齢1,000年以上を誇り、国天然記念物にも指定され、圧倒的な大きさで人々を魅了します。

「ふかうら雪人参」
冬季間に雪の下から収穫される“ふかうら雪人参”は、野菜とは思えない抜群の甘さです。

避難小屋を修復して登山者の安全を守りたい

日本で初めて世界自然遺産登録された「白神山地」。その主峰である白神岳からは、日本最大級のブナ原生林と雄大な日本海が一望できることから、毎年多くの登山者が訪れます。
山頂付近には、登山者の安全を守る「唯一の避難小屋」がありますが、長年の厳しい風雪と老朽化による木材の腐食から、倒壊の危機にあります。

白神岳「避難小屋」

登山者に愛される白神岳

白神山地が世界自然遺産に登録されて25年が経ち、節目の年を迎えた深浦町では、避難小屋の修復工事をすることとしました。
工事には資材を運ぶためのヘリコプターチャーター費など多額の費用が必要となるため、平成31年度の修復工事に向けて、ふるさと納税を活用し寄附金を募集しております。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

1985年、山を愛する多くの人々の寄附によって建設され、以来、山頂付近の厳しい天候の変化から登山者の命を守ってきた避難小屋。老朽化により倒壊が危惧される中、避難小屋を修復することは登山者の安全を守るだけでなく、これまでより多くの登山者が白神山地へ訪れるきっかけとなり、観光客の増加による地域活性化が期待されます。

応援しています！～寄附者の声～

- 白神山地の自然保護のために使ってください。
- 人口減少、高齢化社会に向けて頑張ってください。
- 母が長い間グループホームでお世話になりました。少しですがお役に立てればと思います。

感謝しています！～住民の声～

- 安全に登山が楽しめるよう、ぜひ修復をしてほしいと思います。
- 白神山地は、深浦町住民の誇りであり、その山頂にある避難小屋が修繕されることを感謝します。

岩　手　県

岩手県は、平泉をはじめ 2015 年に世界遺産に登録された橋野鉄鉱山など、多くの歴史的な観光スポットがあります。

また、岩手県沿岸は世界三大漁場に数えられ新鮮な海産物の宝庫です。

春は桜、夏は海水浴、秋は紅葉、冬はウィンタースポーツ、季節ごとに行われる情緒あるお祭も、岩手県の魅力です。

〔人口〕１，２６８，０８３人（H28.10.1）

〔面積〕１５，２７５．０１㎢

〔ふるさと納税寄付額（Ｈ２９年度）〕

９７４件　９５，２１８千円

「奇跡の一本松」

東日本大震災津波で流された高田松原の松林の中で奇跡的に残った一本松。復興のシンボルとなっています。

「盛岡さんさ踊り」

悪鬼退散を喜んで踊ったのが始まりといわれ、現在では踊り手、笛、太鼓３万６千人程の大パレードです。

「世界遺産　平泉」

奥州藤原氏の初代清衡公が造営。堂塔は焼失しましたが、金色堂など平安美術の宝庫です。

「キタムラサキウニ」

岩手の夏の味覚の代表格。生食のほか、塩ウニや焼きウニなどにも加工されています。

ラグビーワールドカップ2019™を契機とした観光客受入れ

ラグビーワールドカップ2019™の開催に向け、岩手県では県内小学生を対象としたタグラグビー大会の開催支援や、釜石シーウェイブスRFC などラグビー選手等とのふれ合い、トークショーなどの企画・実施を行っています。大会公認のイベントスペースにおいて、ストリートラグビー体験会などのプレイベントも開催しております。

ファンゾーンプレイベントラグビー日本代表

交通輸送　　バス乗客レーン

同時に、また、会場地近隣市町村及び関係機関と連携し、交通輸送、警備・防災に関する情報共有・連携体制の構築や、テロ対策いわてパートナーシップ推進会議への参画、観客等の安全の確保と医療の提供の提供に係る基本方針を定めた、「防災基本計画」及び「医療救護基本計画」の策定を行っています。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

ラグビーワールドカップ™は、世界中のラグビープレーヤーにとっての憧れの舞台であり、夏季オリンピック、サッカーワールドカップに次ぐ規模となる世界三大スポーツイベントのひとつです。

寄附金の使い道については、基本的に大会開催を契機とした観戦客をはじめとする国内外から本県への来訪者に対するおもてなし向上など、受入態勢の整備に活用していきます。

応援しています！～寄付者の声～

・ラグビーワールドカップをぜひ成功させてもらいたいという気持ちを込め、寄付しました。一瞬の盛り上がりではなく、釜石の活性化につながってほしいです。

感謝しています！～住民の声～

・東北の小さな町にW杯が来るのは嬉しい。震災の時は、海外を含め周りの人たちに助けられたので、自分たちの元気な姿や立ち直った姿をたくさんの人に見てもらいたいです。

秋田県

湯　沢　市

湯沢市は、小野小町伝説が残る自然豊かなまちです。その名のとおり温泉が豊富に湧き、地熱発電や「ゆざわジオパーク」活動など、地域資源を活用した取組みを積極的に行っています。

稲庭うどんや川連漆器、酒造りなど匠の技が光る伝統産業が脈々と受け継がれています。

〔人口〕　４６，６１３人（H27.10.1）

〔面積〕　７９０．９１㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

２３，０６３件　３２７，１５１千円

「赤塚白山神社のシダレザクラ」

「おしらさまの枝垂桜」と呼ばれる市指定天然記念物。花の季節には地域住民がおもてなしします。

「川連漆器」

８００年の歴史を持つ国の伝統的工芸品。繊細な沈金や蒔絵が漆の美しさを一層引き立てます。

「稲庭うどん」

日本三銘うどんの一つと称される稲庭うどんは、匠が受け継ぐ伝統の技から生まれます。

「小町まつり」

市内小野地区が生誕の地といわれる小野小町の和歌を、七人の小町娘が奉納します。

雪国の課題をふるさと納税で解決したい

湯沢市は、人口減少と少子高齢化という大きな課題を抱えています。

人口は、昭和30年に7万9千人を超えるピークを迎えた後、自然減少・社会減少が徐々に拡大し、平成30年7月現在では45,635人に減少、高齢化率も37.5%に到達しています。国立社会保障・人口問題研究所によると、2040年には人口は28,396人まで減少、高齢化率は48.1％になると推計されています。

屋根の雪下ろしはお年寄りには大変な作業

サービスの様子　屋根から雪が下ろされていく

こういった状況を背景に、増加する空き家の管理や、担い手のいない高齢者世帯の屋根の雪下ろしが大きな問題となっていた湯沢市では、平成29年度、ふるさと納税の返礼品として市内の高齢者世帯住居や空き家への「雪下ろし代行サービス」の提供を開始しました。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

「ふるさとを想う気持ち」によって、地域課題の解決ができないかと考え、このサービスの提供を開始しました。地元を離れた方々の、雪深い湯沢市で暮らすご家族を願う気持ち、地域の課題を解決したいという想いに、ふるさと納税の仕組みを活用して応えています。ご実家の雪下ろしを心配していた寄附者に安心をお届けできました。また、サービスを報道等で取り上げていただき、全国でも有数の豪雪地帯である当市の現状と課題解決の取り組みを知っていただく機会となりました。

応援しています！～寄付者の声～

- 雪下ろし代行サービスは、親が一人で湯沢に住んで子供が首都圏に出てきているような人はとても助かる仕組みです。
- 屋根に上るのが不安だったので、安心した。

感謝しています！～住民の声～

- 雪国の課題を知って応援していただけることは、大変有難いです。
- お年寄りの雪下ろしは心配。お子さんと離れて暮らす一人暮らしの方にとって、とても心強いと思います。

山　　形　　県

山形県は、四季折々に表情を変える豊かな自然に恵まれ、日本一の生産量を誇るさくらんぼをはじめとする果物や全ての市町村に湧出する温泉など、１年を通じて楽しむことができます。
出羽三山や山寺など、歴史と文化を堪能できる観光スポットも数多く存在しています。

〔人口〕１，１２３，８９１人（H27.10.1）
〔面積〕　　９，３２３㎢
〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕
５，６８３件　１８４，７９１千円

「銀山温泉」
大正ロマンあふれる温泉街で、ガス灯と夜霧に濡れた石畳が映える夕景や、冬の雪景色は絶景です。

「出羽三山」
山岳信仰の場として知られ、国宝「羽黒山五重塔」をはじめ、多くの歴史的建造物や史跡が存在しています。

「牛肉」
山形県の自然に育まれた県産和牛は「米沢牛」をはじめとするブランド牛として全国でも人気です。

「日本酒」
県単位で初めて地理的表示（ＧＩ）の指定を受けた山形県の日本酒はやわらかさと透明感が特徴です。

山形県の農産物をふるさと納税で応援

山形県では、ふるさと納税の寄付の一部を活用し、基幹産業である農林水産業の振興を図っています。
その中でも、県を代表する果物であるさくらんぼの新品種「山形Ｃ１２号」、そして新ブランド米「雪若丸」の開発及びブランド化は、多くの関係者の期待を受け、進められてきました。

山形Ｃ12 号（名称は 2019 年３月頃決定予定）

雪若丸

雪若丸

「山形Ｃ12 号」は 500 円硬貨よりも大きい大粒で上品な甘さがあり、日持ちも良いため、より遠方への出荷が期待できます。
「雪若丸」は白く輝く美しい粒が「つや姫」に似ていますが、粘りとしっかりした粒感のバランスが両立した新食感のお米です。
どちらも山形県が長い歳月をかけて開発した待望の新品種です。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

山形県では次の時代を担うお米やさくらんぼの新品種を開発するため、日々研究に取り組んでいますが、新品種の開発には、試験研究の環境と膨大な時間、そして多くの人の手が必要です。
また、安全でおいしい農産物を生産していくためには、栽培技術の開発や、生産者の技術のレベルアップ、生産環境の維持・改善など、様々な取り組みが必要です。
頂いたご寄附の一部は、全国の皆様により安全でおいしい農産物をお届けするために活用しています。

応援しています！～寄付者の声～

- 山形県は果物や米など美味しいものが沢山あります。今後も継続して、良いものを生産して下さい。
- さくらんぼ大好きです！これからも高品質な農作物を作り続けてください。応援しています!!

感謝しています！～生産者の声～

- さくらんぼの新品種「Ｃ12 号」は生産者である我々も大変期待しています。2023 年の初出荷がたのしみです。
- 「つや姫」も「雪若丸」も順調に育っています。ぜひ、食べ比べてみてください。

山形県

山　形　市

山形市は、日本一の芋煮会フェスティバルが開催される馬見ヶ崎川やウインタースポーツの聖地・蔵王など豊かな自然と、さくらんぼや米などの美味しい特産物が生産される田園、そして城下町として栄えてきた歴史的、文化的財産を今に残す市街地が共存する美しいまちです。

〔人口〕　２５３，８３２人（H27.10.1）

〔面積〕　　３８１．５８㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

１０７，６５９件　１，７９２，２３７千円

「食文化」

山形市は、初夏の味覚さくらんぼ、とろけるような山形牛、秋の芋煮など「食」の宝庫。

「温泉」

蔵王温泉をはじめ、黒沢温泉、市内にある立ち寄り温泉施設など、数多くの温泉が楽しめます。

「歴史・文化」

松尾芭蕉ゆかりの山寺や紅花商人の栄華とロマンを感じることができます。

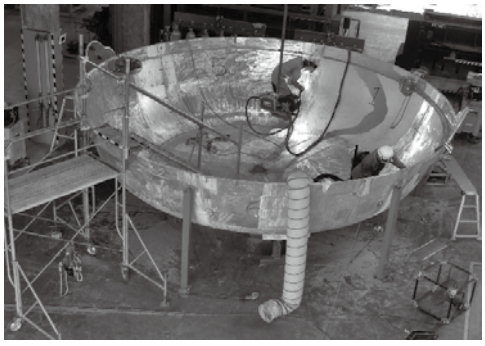
「自然」

春は霞城公園でお花見、冬は蔵王でスキーや樹氷鑑賞。四季折々の風流を感じることができます。

みんなで日本一おっきな三代目鍋太郎をつぐっぺ

ふるさと納税を活用したクラウドファンディングにより「三代目鍋太郎」製作費を募集しました。完成までの一部を紹介いたします。

三代目鍋太郎は、直径6.5mの大鍋のため、パーツごと製作し、最後は溶接をして完成しました。



三代目鍋太郎　内部最終溶接

三代目鍋太郎　設置風景

製作現場から陸送で芋煮会会場へ移送しました。直径 6.5m の大鍋のため、交通規制が必要となり、夜中から早朝にかけての移動となりました。移送後は、設置台へクレーンを使って設置しました。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

製作から 25 年が経過し経年劣化が進む「二代目鍋太郎」に代わり、直径 6.5m、日本一の大鍋「三代目鍋太郎」が皆さんの寄付により完成いたしました。平成 30 年 9 月 16 日、第 30 回日本一の芋煮会フェスティバルにおいてお披露目となりました。

日本一の鍋太郎が、山形市の貴重な観光資源として、また、「食文化」や「ものづくり」、更に観光地として全国に発信されました。

応援しています！～寄付者の声～

- 大好きな山形！大好きな芋煮！これからも、日本一大きな鍋で、世界一おいしい芋煮続けられますように。
- 三代目！日本一に向けて頑張ってください。
- この素晴らしい文化を未来へ！つなげ芋煮魂！

感謝しています！～住民の声～

- 日本一の芋煮会フェスティバルにお越しください。三代目鍋太郎がお迎えいたします。
- 大鍋製作と日本一の芋煮会フェスティバルを通して、山形の芋煮文化を全国に発信します。

山形県
米　沢　市

上杉景勝が米沢に入封以後、「上杉の城下町」として栄え、上杉氏の歴史と文化が息づいているまちです。
また、米沢の奥座敷である小野川温泉や白布温泉など豊富な温泉群、四季折々の景観が楽しめる吾妻連峰のほか、お米や果物など食の宝庫で、自然の恵み豊かな地域です。

〔人口〕　８５，９５３人（H27.10.1）
〔面積〕　５４８．５１㎢
〔ふるさと納税寄付額（Ｈ２９年度）〕
１７，５３８件　１，７６９，１９６千円

「米沢牛」
米沢を代表するブランド。きめ細かい霜降りと脂の良さ、そしてとろけるような食感が特徴。

「米沢織」
２３０年余の伝統を誇る米沢織。和装のほか、現在、高級服地として海外有名ブランドにも使用されています。

「米沢上杉まつり」
毎年４月２９日から５月３日に開催。戦国史上最大の合戦と称される「川中島合戦」の再現は迫力満点です。

「松が岬公園」
旧米沢城本丸跡にあり、桜の名所としても有名。４月中旬の桜の開花期に合わせたライトアップは見物。

米沢のまちづくりにふるさと納税を活用

国土交通省の「重点道の駅」に山形県内で初めて選定された「道の駅米沢」の開業に向けた準備に活用しました。
４月 20 日の開業当日は、多くの方にご来場いただき、活気あふれるオープンとなりました。そして、おかげさまで７月７日には来場者 50 万人を突破しました。

道の駅米沢館内の様子

新しい書籍を手に取る児童の様子

市内の小中学校内にある図書コーナーへの新しい書籍等の購入に活用しました。
読みやすく楽しいシリーズものや学習まんがなど児童・生徒に人気のある本のほか、読んでほしいおすすめの本などの購入により、児童・生徒の本への興味を高め、本に触れる機会を増やし、「想像力」や「感性」を育む環境づくりに取り組みました。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

米沢市ふるさと応援寄附金は、「活力のある産業のまちづくり」、「教育と文化のまちづくり」、「子育てと健康長寿を支えるまちづくり」、「自然と都市の魅力が調和し、賑わいと交流があるまちづくり」、「安全安心に暮らせるまちづくり」、「山形大学工学部への支援ほか学園都市事業の推進」の施策に沿った事業に活用させていただいております。平成 29 年度はお寄せいただいた寄附金から 6 億円を活用させていただきました。ご支援、ありがとうございました。

応援しています！～寄付者の声～

- 米沢市って綺麗なところですよね。いつまでも皆様で米沢市を大切にしてください。
- 山形大学の卒業生です。米沢にはたくさんの思い出があります。離れてしまいましたが、ずっと応援しています。

感謝しています！～住民の声～

- 温かい応援ありがとうございます。この気持ちに恥じないよう頑張りたいと思います。
- 皆様からの心強いメッセージをお寄せ頂き、ありがとうございます。この想いを胸に刻み、より良いまちづくりを進めていきたいです。

山形県
天　童　市

県のほぼ中央に位置し、古くから旧羽州街道の宿場町として発展しました。
山形盆地という土地柄から、年間を通して、フルーツの育成が盛んです。また、将棋駒の生産量は日本一を誇り、春になると満開の桜の下、甲冑姿の武将を駒に見立てた「人間将棋」が行われ、将棋のまちとして全国的に知られています。

〔人口〕　６２，１９４人（H27.10.1）
〔面積〕　１１３㎢
〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕
１７２，２８４件　２，８９９，４５９千円

「将棋駒の生産」
幕末に武士の内職として奨励されたのが始まり。今では国の「伝統的工芸品」の指定を受けています。

「人間将棋」
毎年４月の天童桜まつりの期間中、「人間将棋」が開催され、多くの観光客や将棋ファンが訪れます。

「フルーツの里」
初夏のさくらんぼに始まり、ぶどう、もも、りんご、ラ・フランスと年間通して旬の果物が楽しめます。

「天童温泉」
街の中心には県内有数の温泉旅館が立ち並びます。透き通った泉質は美肌効果も抜群です。

将棋のまち、天童の未来に向けた新たな一手

天童の優れた技術を広く発信する目的で、長年培われてきた伝統的な将棋駒の技術に、先進的なデザインやインテリア性を取り入れ、新たな飾り駒を開発。製作には、世界的工業デザイナー奥山清行氏が代表を務める「KEN OKUYAMA DESIGN」と、日本を代表する家具メーカー「天童木工」、唯一無二の駒職人 高橋稚山氏の技を結集しています。

優れた技術を結集した新しい飾り駒

同時対局数世界記録への挑戦プロジェクト

市制施行６０周年を記念し、将棋の同時対局数のギネス世界記録を目指して4,000人が同時に対局を行う将棋イベント“二千局盤来”を10月に開催。4,724人（2,362局）で大幅な記録更新となりました。
このイベント開催費用は、ガバメントクラウドファンディングを活用し、趣旨に賛同いただいた全国の皆様からの寄附で開催しています。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

天童の将棋駒産業は、昭和55年の４億７千万円の出荷額をピークに、近年では低迷を続け、一時は３割弱まで出荷額が落ち込みましたが、ふるさと納税での「将棋駒ストラップ」などが人気となり、大きくV字回復しています。また、頂いた寄附金を活用して、将棋駒伝統工芸士育成講座の開催をはじめとした将棋の振興のほか、天童桜まつりや天童ラ・フランスマラソンといったイベント開催、特色のある地域づくりのための支援など、各種施策の推進に役立てられています。

応援しています！～寄付者の声～

- 「３月のライオン」とのコラボで、将棋のまち天童市を知りました。藤井七段の活躍もあり、将棋に注目が集まる今、これからの盛り上がりも楽しみにしています。
- 自然そして地域産業を守っていってください！

感謝しています！～住民の声～

- 将棋ブームもあり、天童市への注目度が高まっていることを感じます。
- 私自身、農家をはじめて５年になりますが、確かに、ふるさと納税の恩恵を受けています。地域の活性化に貢献しています。

山形県

舟　形　町

清流小国川が町の中心を流れ、きれいな空気と豊かな自然に囲まれています。
小国川で捕れる松原鮎は県内外を問わず多くの方から親しまれています。
また、国宝である「縄文の女神」と呼ばれる土偶の出土地として有名で、舟形町は縄文の女神と若鮎の里として魅力に溢れています。

〔人口〕　５，４４１人（H30.7.31）
〔面積〕　　１１９㎢
〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕
４７，９９３件　１，００８，５５０千円

「舟形若あゆ温泉」
「美肌の湯」と評判。町を一望できる露天風呂からは霊峰月山や葉山が見渡せ、絶景です。

「国宝土偶：縄文の女神」
高さ45㎝、約4500年前のもので、その美しい容姿から「縄文の女神」と呼ばれています。

「猿羽根山地蔵尊」
日本三大地蔵であり多くの参拝者が訪れます。縁結び・子宝などのお地蔵様として信仰を集めています。

「松原鮎」
清流小国川で育った鮎は「味、香り、姿」の三拍子が揃った逸品、その品質から高い評価を受けています。

ふるさと納税でさらなる子育て支援

学校給食を通して、町の将来を担う子どもたちに舟形町の豊かさを知ってもらい、感謝する心と愛郷心を醸成し、心身をたくましく育てていくことを目的に地元食材を利用した給食の提供や、地元出身のプロの料理人による伝承野菜や地元食材を使ったメニューの開発、季節料理、郷土料理の提供を行うなど、地産地消に取り組んでいます。

日本一の給食食育推進事業

わかあゆ塾

数学の力を重点的に伸ばす取り組みとして、民間の個別指導塾に委託し、「わかあゆ塾」を舟形中学校、小学校で行っています。
塾では、希望者が基礎と応用レベルに分かれ受講しました。
このことにより学力向上や保護者の負担軽減につながっています。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

「子育て支援」では、保育園・小・中学校の備品整備、新聞活用教育、放課後わかあゆ塾、日本一の給食食育事業などに活用しています。平成２９年度の主な事業としては中学校にエアコンを導入し、学習しやすい環境の整備を行いました。日本一の給食食育事業では地元食材を多く取り入れることにより地域との繋がり深まり、食材を提供する生産組織「舟形ベジタブルNO１」ができ、給食献立に使いたい農産物の栽培を、栄養士と相談・連携して行うための協議の場が生まれました。

応援しています！～寄付者の声～

- 子供たちが元気に明るく健やかに成長できる町づくりを期待しています。
- お米など農業があって安心して生活できると思っています。これからも農業などを推進して地域の活性化を進めていただけたらと思います。

感謝しています！～住民の声～

- 全国各地の皆さんから「お米が美味しい」と言われるのが本当にうれしいです。舟形町はお米だけでなくおいしいものがたくさんあるので日本一の給食食育推進事業で子供たちにも舟形町の農産物の良さが伝わればと思います。

茨城県

古　河　市

古河（こが）市は関東平野のドマンナカ、茨城県の西端にあり、天気の良い日は遠方に日光連山や富士山を望めます。
都心へのアクセスの良さ、歴史を感じさせる趣のある町並み、先進的な教育環境など、子ども達の成長に最適な環境が揃っています。

〔人口〕　１４０，９４６人（H27.10.1）
〔面積〕　１２３．５８㎢
〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕
１１，９６１件　３５８，５７５千円

「古河総合公園」
日本で初めてユネスコの「メリナ・メルクーリ国際賞」を受賞し、市民の憩いの場です。

「篆刻美術館」
日本唯一の篆刻専門の美術館です。建物は大正９年に建築された石蔵を利用しています。

「古河花火大会」
三尺玉を含む約２万発の花火が、古河市の夏の夜空に大輪の花を咲かせます。

「鮒甘露煮」
じっくり手間暇をかけて作り、カルシウムなどの栄養が豊富な伝統ある郷土の味です。

ふるさと納税で子育てにやさしい都市（まち）づくり

古河市では、ふるさと納税を活用し、「子育て拠点施設整備事業」を行っています。
この事業は、総合病院の跡地を「子育て拠点エリア」とし、支援の量の拡充と質の向上を進めながら、幼児期の教育や保育、地域の子育て支援を推進していくため、保育所や子育て支援施設を整備するものです。

市内の親子が交流する様子

新たな保育所の完成イメージ

拠点エリアの東側には、老朽化した保育所の移転整備を行っており、平成 31 年度の開所を予定しています。定員を 120 名から 180 名に拡大することにより、待機児童の解消が期待されます。また、エリア西側には、子育て支援複合施設を整備するための基本計画の策定と民間活力導入可能性調査等を実施しています。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

「子育て拠点施設整備事業」は、まだ施設の整備中ですが、これらの子育て拠点施設が完成することで、子育てに対する多様な支援ニーズへの対応と総合的な子育て支援体制が整います。
また、現在の保育所では、運動会や発表会などのイベントを行う場合、施設が狭隘であるため、近隣の小学校や公共施設を借りて実施していました。新たな保育所では、大きなホールと園庭も整備することで、移動することなくイベントを行えるようになり、安全・安心や子どもたちの笑顔に繋がっています。

応援しています！～寄付者の声～

- 子どもたちが夢と希望を持ち、誇れるふるさとでありますよう応援いたします。
- 未来へ続く古河市の子どもたちの笑顔が増えますように願っています。

感謝しています！～住民の声～

- 子どもたちが、全国の皆さんの思いを受け、明るく健やかに成長していくことを期待しています。
- 安心して、子どもを預け、遊ばせることができる施設の完成を心待ちにしています。

茨 城 県

北　茨　城　市

北茨城市は、太平洋に面した茨城県の最北部に位置しております。
市内には湯量豊富な温泉や港町ならではの新鮮な海の幸と新緑や紅葉が美しい花園渓谷など豊かな自然を有する県内でも有数の観光地です。

〔人口〕　４４，４１２人（H27.10.1）
〔面積〕　１８６．８０㎢
〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕
２，５９２件　２８，６６８千円

「五浦六角堂」
近代日本美術の礎を築いた岡倉天心が設計し、思索にふけった建物です。

「あんこうどぶ汁」
北茨城の郷土料理。水分はあんこうの身と野菜から出るもののみで仕上げる濃厚な逸品です。

「常陸大津の御船祭」
平成２９年３月に国の重要無形民俗文化財に指定の大祭。人に曳かれ、木造船が街中を進みます。

「花園渓谷」
茨城県北地域屈指の紅葉スポットです。

「御船祭」臨時開催を皆さまの御協力で

「常陸大津の御船祭」は５年に１度、茨城県北茨城市で開催される大祭です。平成２９年は、通常スケジュールでは開催年ではありませんが、国の重要無形民俗文化財に指定されたことを記念し、臨時開催しました。
毎回、祭りの日には、道路に木材を並べ滑らせるように船を引いていくため、祭りの度に船が傷み、修繕費用の確保が課題でした。

木造船に神輿を積んでスタートします

最大の見せ場。道路を直角に曲がります

これまで、地元を中心とした寄附、御船祭保存会の会費等で、祭りを開催してきましたが、今回の臨時開催にあたっては、既存の資金調達に限界があったため、ふるさと納税を活用したクラウドファンディングで開催費用を募ることとしました。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

今回集まったふるさと納税は、船の修繕に加え、仮設観覧席の増設にも活用し、これまでよりも多くの方が見ることが出来る環境を整えました。そうしたこともあり、臨時開催にも関わらず前回開催時の１３万人を超える、１６万人の見物客で賑わいました。今後も、ふるさと納税で得られた寄附者様との縁を大切に、全国に類を見ない御船祭の文化継承・魅力発信に努めていきます。

応援しています！～寄付者の声～

・伝統文化を守ることは大変重要だと思います。どうか先人たちの祭りに込めた願いを絶やさないように守ってください。応援しています。

感謝しています！～住民の声～

・毎回道路上で見ていた御船祭を、臨時開催の今回は仮設観覧席で見ることができ、大変感動しました。全国の皆さまからの応援で席の増設ができたと伺いました。ありがとうございます。

茨城県

守　谷　市

守谷市は茨城県の南端に位置し、利根川、鬼怒川、小貝川の三つの清流に囲まれ、水と緑に恵まれたまちです。市内の大手工場で生産されるビールは小貝川の水を使用しています。都市公園も多く人口１人あたりの面積は約８．６㎡です。

〔人口〕　６４，７５３人（H27.10.1）

〔面積〕　　３５，７１㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

２８，２９５件　１，１９６，７４２千円

「守谷野鳥のみち」

みんなが守谷を好きになることを目的として整備された心豊かに過ごせる居場所となっています。

「松並遊歩道」

江戸時代から残る松並木を宅地化に合わせ遊歩道として整備し、保全しています。

「守谷駅前イベント」

つくばエクスプレス守谷駅前広場で開催される市民協働イベント「ＭＯＣＯフェスタ」。

「守谷ハーフマラソン」

毎年２月に開催されるこの大会には全国から５千人を超えるランナーが参加し市挙げて応援しています。

緑化事業　四季の里公園の維持管理

（株）アサヒビール茨城工場の近くにある四季の里公園は平成５年に開園しましたが、昨年はふるさと納税を活用し、輪番制で花苗の株分け、客土の入れ替え等の維持管理を行いました。

守谷市四季の里公園

アヤメとハナショウブの開花時期

アヤメとハナショウブは約４万株ほどが５月から６月にかけて咲きます。また、春　桜・ツツジ、夏　ムクゲ・夏椿、秋　モミジ、冬　寒椿等が開花し、一年を通じて四季折々の花が楽しめる公園となっております。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

守谷市内には１１８もの都市公園がありますが，それに伴い維持管理費がとてもかかります。なかでも四季の里公園は２０，６５９㎡と２番目に面積が広く、平成２９年６月までは「もりやアヤメ祭り」を毎年開催していましたが、市内外からの多くの来場者があったこともあり損傷も目に付き、ふるさと納税の活用により一部の補修、花苗の株分け、客土の入れ替え等維持管理費に充てることができました。

茨城県
境　　町

茨城県の西南部、首都圏５０ｋｍ圏内の利根川と江戸川分岐点に位置し、江戸時代には水運を活かした利根川随一の河岸のまちとして、人や文物の行き交う文化交流の場として栄えました。平成２９年に圏央道が茨城県内全線開通したことにより「境古河 IC」からのアクセスは飛躍的に発展し続けています。

〔人口〕　２４，５１７人（H27.10.1）

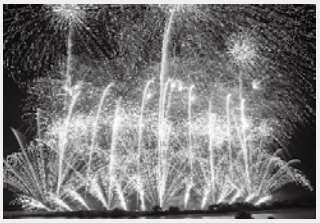
〔面積〕　　４６，５９㎢

〔ふるさと納税寄付額（Ｈ２９年度）〕

１２０，４５８件　２，１６２，４７７千円

「リバーサイドパーク」

さかい河岸で「高瀬舟さかい丸」遊覧船やセグウエイ乗車などの近未来体験、手ぶらでＢＢＱも楽しめます。



「利根川大花火大会」

毎年開催される、夏の夜空に様々な色彩を放ち音楽でつづる風物詩。（２２，８００発　２０１８年）

「さしま茶」

江戸時代初期より栽培が始まったとされる歴史あるお茶は、濃厚な味と豊かな香りが特徴の銘茶です。

「常陸牛」

茨城県が誇る最高級ブランド和牛。上品な脂身を堪能でき、目でも舌でも楽しめる逸品です。

利根川大花火大会バスツアー開催！

前年度に境町へふるさと納税をされた方から抽選で 700 名を招待して、ふるさと納税感謝祭２０１８利根川大花火大会バスツアーを無料で開催しました。今年はバスの発着駅を３駅（新宿・横浜・大宮）に増やし、バス 15 台でのツアーとなりました。

応募総数　9,855件　30,011名

バスツアー参加者（横浜駅）

迫力ある花火を観覧

実際に境町へ「来て・見て・感じて」もらう考えのもと始めた第 2 回ふるさと納税感謝祭企画です。

参加者には 22,800 発の迫力ある打ち上げ花火など、境町の雰囲気を体験していただきました。

参加された方全体の 92%が境町に来るのが初めての方達でした。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

ふるさと納税寄付者と直接交流を図ることで、境町へのファンづくりやリピーターを獲得することができ、寄付者との関係を継続するための取り組みとして、ふるさと納税への寄付増加にも繋がっています。また、今後の交流人口の増加を見込むことができます。

応援しています！～寄付者の声～

- 有料でも来たい！と思うほど感動しました。
- 昨年も参加しましたが、前回よりも良くて期待を裏切らないものでした。
- 視界に入りきらない花火は初体験で迫力もあり良かった。また境町に来たいです。

感謝しています！～住民の声～

- 昨年よりパワーアップした利根川大花火大会最高です！
- ふるさと納税を利用した施策により、町が変わってきている。

栃木県

那　須　町

那須町は、東京から車で 2 時間に位置し、観光と農林業が盛んな町です。
美しい自然の中、天皇、皇后両陛下をはじめ皇族方が静養に訪れる「那須御用邸」が現存することから「ロイヤルリゾート那須」として知られており、年間約５００万人のお客様に訪れていただいています。

〔人口〕　２６，２０３人（H27.10.1）

〔面積〕　３７２．３㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

５，５４８件　２９０，０１８千円

「茶臼岳」

赤や緑、黄色の絵の具を散りばめたような鮮やかな紅葉時期には、多くの登山者が訪れます。

「殺生石」

「鳥獣がこれに近づけばその命を奪う、殺生の石」として古くから知られ、俳聖松尾芭蕉も訪れています。

「那須温泉」

開湯1380年の歴史ある「那須温泉郷」は、鉄やミネラルを多く含む泉質で湯治場としても有名です。

「那須和牛」

ロイヤルリゾート那須の大自然の中、指定農家に丹精込めて育てられたトップブランド「那須和牛」。

安心と夢ある未来に続くまちづくりのために

「やがて世界の人たらん」
那須町では平成 13 年度から、豊かな感性と国際性を兼ね備えた将来を担う人材を育てることを目的に「那須町中学生海外派遣事業」を行っています。
中学生が外国の文化・歴史などに直接触れ、地域住民との交流を通し国際的な視野を広める機会を提供しています。

ケアンズの TAS 生徒と記念写真

親子が楽しく遊ぶ様子

那須町のすべての子どもが健やかに成長するために、妊娠、出産から義務教育まで安心して子育てができるよう切れ目のない支援を行っています。また、那須町の人生の先輩方や介護が必要な方々が安心して過ごせるようタクシー利用の助成やお年寄り安心コール事業などの支援を行っています。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

ふるさと納税でいただくご寄付は、那須町民の子育て世代から高齢者までの方々が、安心して暮らせるための「こども医療費助成事業」や「福祉タクシー利用助成事業」などの様々な事業に活用しています。
また、年間約 500 万人のお客様に訪れていただいている「ふるさと那須町」の美しい清流と豊かな自然を守るため、河川流量・負荷量調査やごみの減量化と資源ごみのリサイクル推進、観光資源の整備事業などにも活用しています。

応援しています！～寄付者の声～

- 那須は自然豊かでおいしいお店がたくさんあり、年に数回訪れています。那須の自然や景観の保護にお役立てください。これからも応援します。
- 豊かな那須の自然で育つ子どもたちが、夢に向かって健やかに育つ一助になることを願います。

感謝しています！～住民の声～

- 子どもが高校卒業まで医療費が助成されるので安心して子育てができ、心に余裕が出来ました。
- 日用品の買い物も通院も、移動手段がなく、困っていましたが、福祉タクシーのお陰で安心して暮らせるようになり元気になりました。

群馬県

中之条町

中之条町は美しい自然に恵まれ、神秘的な野反湖や貴重な高山植物の宝庫である芳ヶ平湿地群、本州で唯一のチャツボミゴケ群生地など、美しい自然に彩られています。

また、四万温泉をはじめ、沢渡、尻焼などの温泉が９ヶ所あり、歴史と情緒に溢れる温泉郷がにぎわう町です。

〔人口〕　１６，８５０人（H27.10.1）

〔面積〕　４３９．２８㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

６，８９４件　７４１，５１４千円

「四万温泉」

草津、伊香保とともに上毛三名湯に数えられ、「四万（よんまん）の病に効く伝説の湯」として有名です。

「チャツボミゴケ」

国の天然記念物。緑のビロードを敷き詰めたようなチャツボミゴケと岩肌を流れ落ちる水流が神秘的です。

「芳ヶ平湿地群」

ワタスゲをはじめ貴重な高山植物や、世界的に重要な生態系が存在します。ラムサール条約登録湿地群。

「花ゆかり」

おいしさ指数である食味値を計測し、厳選したお米を町ブランド米『花ゆかり』として販売しています。

花と湯の町なかのじょう　花のまちづくり

中之条町ではふるさと納税を活用し、「花と湯の町なかのじょう」にふさわしい花のまちづくりを進めています。

花のまちづくりは、花や緑による景観整備に加え、花と人が関わり合うことにより豊かな心が育ち、人と人との交流が深まるなど、地域の活性化に大きな力となる活動です。

中之条ガーデンズ「スパイラルガーデン」

中之条ガーデンズ「町民花壇」

現在、町では町内外から花を楽しみ、花を愛する人々が交流する拠点となる施設「中之条ガーデンズ」の整備を進めています。１２万平方メートルの広大な敷地の園内には、数百種類の植物が季節を彩ります。

町民に貸出をしている「町民花壇」も１０７区画あり、毎月合同の作業日を設け、町民の交流、学び、憩いの場となっています。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

花のまちづくりを目指す中之条町では今年７月、「全国花のまちづくり中之条大会」が開催されました。町村による開催は初めてとなり、大きな注目を集めました。この全国大会にあわせ、管内の小・中学校の児童・生徒が「花育活動」としてプランターの寄せ植えを行い、花を愛する優しい心を育みました。

また、中之条町では寄付者の意向を反映し、事業へ充てているため、福祉や教育環境の充実・子育て環境づくり等幅広い事業に活用しています。

応援しています！～寄付者の声～

- いつまでも名湯の名に相応しい観光地でありますよう、応援しています。
- 中之条町は心のふるさとです。静かで落ち着けます。これからもふるさと納税で応援させていただきます。

感謝しています！～住民の声～

- 花のまちづくりを通じ、町民同士の交流も増え、地域の活力になっています。
- ふるさと納税で中之条町を知った方が実際に町を訪れてくれるため、温泉街にも活気が溢れるようになりました。

石 川 県

輪　島　市

能登半島の北西にある輪島市は、人口約３万人の町です。中世に曹洞宗の本山「總持寺」が開かれ、江戸中期以降は漆器業が盛んになりました。世界農業遺産「能登の里山里海」のシンボルの一つである千枚田の景観は絶景です。近年は天然ふぐの水揚げ量が日本で一二を争う産地として知られています。

〔人口〕　２７，２０５人（H27.10.1）

〔面積〕　　４２６．２㎢

〔ふるさと納税寄付額（Ｈ２９年度）〕

９，１０３件　３６８，４６５千円

「曹洞宗大本山總持寺祖院」

曹洞宗の大本山として開山するも明治の大火で大部分が焼失。現在は祖院として当時の面影を偲ばせている。

「輪島塗」

堅牢豪華で知られる輪島塗は１００を超える手作業の工程で作られ、伝統として定着させました。

「白米千枚田」

日本の棚田百選、国指定文化財名勝に指定され、奥能登を代表する観光スポットです。

「輪島ふぐ」

平成２２年～２７年まで５年連続日本一の水揚げ。２８年は惜しくも2位となるも日本屈指の水揚げ量を誇る。

不妊治療費への独自支援「子宝支援事業」

輪島市では、地域の課題解決のため、ふるさと納税を活用し、様々な事業を実施しています。

その１つに子宝支援事業があります。

女性の晩婚化に伴って、不妊の検査や治療を受ける人が増え続けています。しかし、治療方法によっては１回数十万円かかるものもあり、高額な費用負担への心配が募ります。

治療を受けて妊娠した女性（イメージ）

出産したこども（イメージ）

不妊治療に取り組む夫婦対して、経済負担を軽くする国の助成制度がありますが、助成を受ける夫婦の所得が一定額を超えると助成を受けられなかったり、助成通算回数に制限があります。

輪島市の子宝支援事業では、所得制限や通算回数制限をなくし、不妊治療に取り組む夫婦へ、国の制度を上回る独自の支援を行っています。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

平成 28 年度よりふるさと納税を活用することにより、特定不妊治療の 1 年度あたりの助成限度額を 60 万円から 100 万円へ引き上げた結果、利用者数や利用回数が増加しました。

これまでに利用者の約６割が子宝に恵まれており、引き続き不妊治療への支援を行ってまいります。

応援しています！～寄付者の声～

- 過疎化、少子高齢化に悩むふるさとのために寄附をしました。
- 地域福祉のために役立ててください。

感謝しています！～住民の声～

- 子宝支援制度で初めて子どもが授かりました。この上ない喜びです。
- 特定不妊治療への助成金額が増えたことは、本当にありがたいです。

福　井　県

福井県は子供達の学力・体力が全国トップクラスを誇り、3回連続で幸福度日本一※と評される暮らしやすい県です。
世界三大恐竜博物館の一つである「県立恐竜博物館」や名勝地として名高い「東尋坊」、曹洞宗大本山「永平寺」など歴史や文化、自然が豊かな地域です。

※一般財団法人日本総合研究所編「全47都道府県幸福度ランキング」

〔人口〕　７８６，７４０人（H27.10.1）

〔面積〕　　４，１９０㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

１，４７７件　７３，６５５千円

「福井県立恐竜博物館」

世界三大恐竜博物館の一つ。日本で発掘される恐竜化石の大部分が福井県産です。

「東尋坊」

日本海の荒波が作り出した豪快な景勝地。国の名勝・天然記念物に指定されています。

「越前がに」

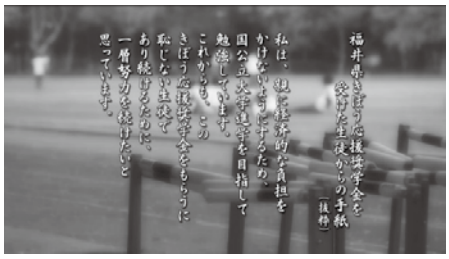
荒々しい日本海で育った、冬の味覚の王者。皇室への献上品としても有名です。

「いちほまれ」

こしひかり発祥の地、福井県が６年の歳月と技術の粋を込めて開発した次世代を担う全く新しいお米です。

学生たちの希望をふるさと納税で叶えたい

福井県では、ふるさと納税を活用し、県内高校生への支援を行う「ふるさと母校応援」に取り組んでいます。
一つ目は「ふるさと母校応援」です。応援したい高校を指定し、ふるさと納税を行うと、寄付額の１／２が当該高校の施設整備や研修活動費に活用され、残りの１／２が、返還不要の給付型奨学金「福井県きぼう応援奨学金」の財源として活用されます。



奨学金を受けた生徒からの手紙

支援した留学生が海外で学ぶ様子

二つ目は「長期海外留学支援」です。留学希望の学生を応援し、世界で活躍できる人材育成のため、長期留学に対する奨学金制度を設けています。
寄付者に対しては、寄付先の学校からの活用実績の報告や感謝の手紙、海外留学中の学生からの留学中の生活や成長の様子を伝えるレポートを送付しています。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

「ふるさと母校応援」では、部活動の備品購入、学生の短期海外研修など、学校ごとに必要な事業に活用しています。また、「福井県希望応援奨学金」を活用し、毎年約20人が高校へ進学しています。今年度からは高校で寄付の使い途を提示する「プロジェクト型ふるさと母校応援」の仕組みを創設しました。
さらに、高校生の長期海外留学支援では、平成２８年度より毎年４人の高校生の留学費用を助成し、奨学生はアメリカやドイツ、香港等で１年から２年の留学生活を送っています。

応援しています！～寄付者の声～

- 母校の生徒の皆さんが、卒業後に大きく羽ばたくことを期待しております。
- 微力ながら応援しています。夢に向かって頑張れ！

感謝しています！～住民の声～

- きぼう応援奨学金をもらうに恥じない生徒であり続けるために、一層努力を続けたいと思っています。
- 研修で学んだことを生かし、更なるステップアップに繋げいきたいです。

福 井 県

敦　賀　市

敦賀市は福井県のほぼ中央に位置し、古来より栄えた港町です。明治時代には大陸との間に直通航路が開かれ、また日本海側で初の鉄道が敷かれた、日本と世界とつなぐ重要な結節点でした。日本三大松原のひとつ「気比の松原」やラムサール条約に登録された「中池見湿地」など美しい風景が広がるまちです。

〔人口〕　６６，１６５人（H27.10.1）

〔面積〕　２５１．３９㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

７，２４３件　１２５，５０３千円

「氣比神宮」

地元では「けいさん」の愛称で親しまれる北陸道の総鎮守です。

「水島」

敦賀半島の先端近くに浮かぶ無人島。エメラルドグリーンの水に浮かぶ美しい島です。

「おぼろ昆布」

全国の約８５％のシェアを占める敦賀市の特産品です。

「越前がに」

冬の味覚の王者！ズワイガニの最高峰です。

中池見の保全・活用

敦賀市北東部に位置する中池見湿地は、越前加賀国定公園の一部であり、ラムサール条約に登録されています。春には野や水辺に花が咲き、秋には渡り鳥が翼を休める、四季折々の表情が楽しめる中池見を、人が自然と触れ合える場所として、次の世代に伝える活動をしています。寄附金は中池見保全活用基金に積み立てられ、湿地環境の整備や外来種防除、環境教育の支援など、今後の中池見湿地の保全と活用のために使用されます。

中池見の風景

保全活動の様子

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

お陰をもちまして、最近はふるさと納税をきっかけとしたPRもあってか、中池見ウォーキングに団体様（バスツアー）がお見えになるなど、中池見自体が対外的に知られてきているようです。今後とも自然環境の保全・活用に、皆様のご理解を賜りたく、よろしくお願いいたします。

応援しています！～寄付者の声～

・中池見はたびたび行かせていただいています。子供たちが大好きな所です。是非、未来永劫あの土地、自然を保ち続けて欲しいです。

感謝しています！～住民の声～

・中池見をこれからも大切にしていきたいと思います。

福井県

小　浜　市

小浜市には、古代から「御食国（みけつくに）」として、塩や海産物などの豊富な食材を都に運び、都の食文化を支えてきた歴史があります。そして今も、受け継がれてきた食や祭礼など様々な文化が息づいています。小浜市はこの文化を受け継ぎ、「食」を中心としたまちづくりを進めています。

〔人口〕　２９，４７５人（H30.7.1）

〔面積〕　２３３．１１㎢

〔ふるさと納税寄付額（Ｈ２９年度）〕

１７，３８８件　２７７，９５０千円

「若狭小鯛ささ漬」

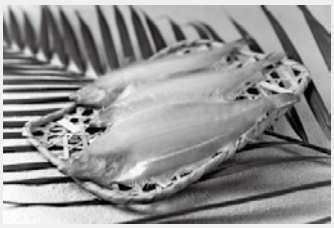
小鯛を三枚におろし、薄塩と酢に漬け、樽詰めした名産物。保存性を有しながら生に近い風味を持ちます。

「若狭ふぐ」

若狭湾で養殖されたとらふぐ。過酷な冬の日本海を生き抜いたふぐは、身が締まり、旨みたっぷりです。

「若狭ぐじ」

若狭湾で獲れるアカアマダイは若狭ぐじと呼ばれます。上品な甘さで京料理に欠かせない高級食材です。



「若狭かれい」

日本近海だけでも４０種近くあるカレイですが、その中でも絶品とされ、毎年皇室に献上されています。

小浜育ちのサバによる鯖文化の新たな展開

小浜市では、現在は漁獲量が減ってしまった小浜の鯖を、養殖という技術で復活させる取り組みを始めました。名付けて「鯖、復活プロジェクト」。「鯖」の養殖技術の確立を入り口に、小浜育ちの鯖による鯖の食文化の新たな展開で産業振興や誘客促進により、にぎわいを創出し、まちを元気にしようというものです。

丸ごと串に刺して焼き上げた「浜焼き鯖」

塩と糠で漬けて熟成させた「へしこ」

～今、なぜ鯖なのか～

小浜の鯖は、一塩して京都に運ばれ「ハレの日にはさば寿司を食べる」という京都の食文化を創り出しました。小浜を起点に、京都へと至る道のりは「鯖街道」と呼ばれています。しかし、かつて豊富に獲れた鯖は、全国的にサバの漁獲量が減る中で、小浜の漁獲量も激減し、平成２６年の漁獲量は１㌧にも届きませんでした。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

漁獲量が減ってしまった小浜の鯖を養殖により復活させる取り組みは、各種メディアに取り上げられています。刺身で食べられる小浜育ちの鯖を目当てとするお客様も多くいらっしゃいます。

応援しています！～寄付者の声～

- きれいな海、おいしい魚がいつまでも続きますように。
- おいしい物、すばらしい景色、もっともっと宣伝して下さい。

感謝しています！～住民の声～

- 日本遺産に認定された「御食国若狭と鯖街道」のストーリーと最新の養殖技術によって、“鯖のまち小浜”を復活できれば、漁業者にとっても明るい将来が開けます。
- 応援ありがとうございます。

福 井 県

勝　　山　　市

勝山市は周辺を 1,000m 級の山々に囲まれ、優雅で時に荒々しい、一級河川の九頭竜川が流れる、水と緑の豊かな田園都市です。

全域を日本ジオパークに認定されている当市は、大地に刻まれた地域の歴史、その上に育まれた生態系、それらを利用した人々の歴史や文化などの観光資源に満ち溢れたまちです。

〔人口〕　２４，１２５人（H27.10.1）

〔面積〕　２５３．８８㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

５０６件　２１，６２１千円

「白山平泉寺」

１３００年前に泰澄大師により開山された平泉寺。悠久の時を経た杉木立と苔むした景色は圧巻です。

「福井県立恐竜博物館」

世界三大恐竜博物館の一つ。日本で発掘される恐竜化石の多くが、当勝山市で発掘されています。

「スキージャム勝山」

西日本最大級のビッグゲレンデ。日本海側特有の恵まれた雪質、豊富な積雪量が自慢です。

「大矢谷白山神社」

高さ約23m、横幅約40mという巨大な岩塊に神社の拝殿が今にも押しつぶされそうな光景が楽しめます。

目指そう！世界遺産「白山平泉寺」

勝山市ではふるさと納税で応援していただく５つの視点を設けています。

なかでも特筆すべきは、誰もが静寂の中に神々しさを感じるパワースポット「白山平泉寺」です。同寺は、７１７年に泰澄大師により開山され、２０１７年で１３００年を迎えました。ふるさと納税はそのＰＲに活用しました。

白山平泉寺開山 1300 年記念講演会

平泉寺境内

平成２６年には１０万人弱だった観光客が、平成２９年に３６万人を超えるまでに急増しました。

今後も周辺環境の保全等も含めて観光資源としてでなく、歴史的価値の保全を含め、その素晴らしさが受け継がれるよう活用していきます。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

地域の方の献身的な清掃活動、地道な発掘調査などを経て、平泉寺は全国的に有名な苔の名所として認識されてきました。観光客の方を魅了する姿を今後も保全していくために、寄附金を活用していきます。

今後はこれまで活用されたふるさと納税による成果が、観光客と地域住民の交流や協同した保全活動の推進にまで飛躍し、勝山市だけでなく広くその素晴らしさが認知されていくよう、多くの方の協力のなかで守り、受け継いでいきたいと思います。

応援しています！～寄付者の声～

- 何度訪れても、平泉寺白山神社がとても美しく、清らかな良い場所で気に入っています。その環境維持にお役に立てられたらと思います。
- 朝日に照らされた苔が美しく心が洗われました。いつもでもこの風景を守り続けてください。

感謝しています！～住民の声～

- 近年平泉寺の素晴らしい環境、景観が認知され、清掃活動にも地域外の人の手助けをいただいています。地域の宝を皆さんの手で守っていただけることに感謝しています。

福 井 県

鯖　江　市

鯖江市は福井県のほぼ中央に位置し、北は福井市、南は越前市に隣接する人口約７万人のまちです。

眼鏡、繊維、漆器を三大地場産業とするものづくりや、オープンデータをはじめとした IT 技術の導入など、さまざまな特色を持ち、ものづくりのまちとして今もなお発展しつづけています。

〔人口〕　６８，２８４人（H27.10.1）

〔面積〕　　８４．５９㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

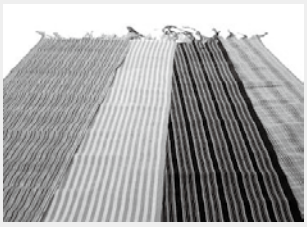
３，５８４件　１９９，２６８千円

「眼鏡」

鯖江市は国内産のメガネフレームの９６％以上を製造する眼鏡産地の中心地です。

「越前漆器」

鯖江市河和田地区を中心に作られ、国の伝統的工芸品としても名高い越前漆器。



「石田縞」

古くから織物の産地としても有名な鯖江市。少女たちの憧れ石田縞は現代では幻の織物として大人気。

「西山公園」

桜、つつじ、もみじ、雪景色と季節で表情を変える美しい公園。レッサーパンダのいる西山動物園も見所。

ふるさと納税を活用し新成人に眼鏡を贈呈

鯖江市ではふるさと納税を活用し、集まった寄付金を成人式での記念品として贈呈された鯖江産の眼鏡一式(眼鏡、眼鏡拭き、ケース)の制作費用とさせていただきました。

寄付金はクラウドファンディング型ふるさと納税サイト(F×G)で寄附を募り、65 件 7,520,000 円と多くの皆さんのご協力を得ることができました。

鯖江産の眼鏡一式(眼鏡、眼鏡拭き、ケース)

大人としての自覚を新たにする新成人たち

できあがった眼鏡のテンプルに入れるメッセージや眼鏡拭きのデザイン、ロゴマークのデザインは新成人の実行委員が考えたもの。

新成人たちはさっそく友達と見せ合ったり、自撮りをして SNS に投稿したりと、「めがねのまち さばえ」ならではの贈り物に笑顔を見せていました。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

２月５日から 14 日、市内に降り続いた雪は６日から豪雪となり、７日午後３時には降雪量 158cm(上戸口観測所)を記録し、37 年ぶりの大雪となりました。市では、６日に「雪害(豪雪)対策本部を立ち上げ、翌７日には「災害対策本部」へと切り替え、連日、幹線道路・生活道路の確保に努めました。

市内全公民館に地区除雪基地を設置し、地区住民が一丸となって不眠不休の除雪作業に努めるなど、皆さんからのご寄附を市民の生活のため活用させていただきました。

応援しています！～寄付者の声～

- 新成人へ鯖江産のめがねをプレゼントするとは、鯖江らしい事業で応援したくなりました。
- 本物のめがねの良さを若者が肌で知り、めがねを通して、ふるさと鯖江に愛と誇りを持ち続けてもらえることを願っています！！

感謝しています！～住民の声～

- 私は平成 29 年度の成人式に出席し、記念品としていただいた鯖江産のメガネをかけて友人と写真を撮り、SNS に載せました。
- 進学を機に県外に出ていますが、これからも大好きな鯖江を PR していきたいと思います。

福井県
あ わ ら 市

福井県の北端に位置するあわら市。
「関西・中京の奥座敷」と多くの人から好評の「あわら温泉」があります。県内の有名観光スポットや、金沢からも近く、旅の拠点として最適な場所です。
また、市内には自然やアート、歴史、四季を感じる場所があふれ、都会にはない贅沢を感じることができます。

〔人口〕　２８，３７１人（H30.6.1）
〔面積〕　１１６．９９㎢
〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕
１，０４５件　４３，４０９千円

「芦湯」
総ひのき造りの北陸一上質な足湯。スタイルの異なる５種類の足湯を楽しむことができます。

「花菖蒲」
**３００NL種２０万株の花が彩る全国有数の花菖蒲園。
見頃は６月です。**

「金津創作の森」
四季を通じて様々な企画展が開催されます。また、吹きガラスや陶芸などを体験することもできます。

「吉崎御坊」
蓮如上人が浄土真宗布教の拠点とした地。毎年、蓮如上人の御影像を京都から吉崎まで徒歩で運ぶ蓮如忌が行われる。

市民活動サポート助成金事業

市内で活動する構成員が５人以上の団体（NPO、行政区、子ども会、PTA等で法人格の有無を問わない。）から企画し、実施するまちづくり事業の提案を受け、当該活動に対し、20 万円を限度に助成金を交付する制度で、平成 22 年度から開始しました。

くじら汁のふるまい

カヌー体験

助成対象の団体は、書類及び公開のプレゼンテーションによる審査を経て決定しており、平成 29 年度は、３団体の活動に助成金を交付しました。
なお、平成 28 年度からは３年連続（１年目 20 万円、２年目 10 万円、３年目５万円）して助成し、継続した取り組みやすい制度に改正しました。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

市民が地域の活性化などを目的に行う事業や活動を支援することにより、まちづくり活動やコミュニティの強化の促進が図られています。

応援しています！～寄付者の声～

- あわら温泉よかったです。また行きたいと思います＾＾
- 毎年応援しています。住みよいまちづくり期待します。

感謝しています！～住民の声～

- ゲームばかりだった子どもが、毎週楽しく運動しています。ありがとうございます！
（平成29年度助成団体　ゲンキッズステーション ASOVIVA！参加者）

福 井 県

坂　井　市

福井県坂井市は福井県の北部に位置し、平成 18 年に坂井郡の三国町・丸岡町・春江町・坂井町の４町が合併して誕生しました。日本海に面し、中部には福井県随一の穀倉地帯である広大な坂井平野が広がり、西部には砂丘地及び丘陵地が広がるとても自然豊かなまちです。

〔人口〕　９０，２８０人（H27.10.1）

〔面積〕　２０９．９１㎢

〔ふるさと納税寄付額（Ｈ２９年度）〕

１５，３７６件　４５２，７１３千円

「東尋坊」

断崖に日本海の荒波が打ち寄せる景色で知られる景勝地。豪快な岩壁が広がっています。

「越前がに」

甘く引き締まった肉質と芳醇なコクの蟹味噌をぎっしりと身に詰めた越前がには『冬の味覚の王様』です。

「丸岡城」

現存天守閣では最古の建築様式を持ち、霞ケ城の別名のとおり春の満開の桜に浮かぶ姿は幻想的です。

「コシヒカリ」

コシヒカリの生みの親「故石墨慶一郎博士」の出身地。『コシヒカリのふるさと』と言われ親しまれています。

市民の願いをふるさと納税で実現

児童や生徒の登下校時の、ボランティア「こども見守り隊」の活動時の着衣がバラバラであったため、寄附金を活用し着衣の統一を図りました。着衣を統一することで、見守り隊の存在をこどもや大人が認識し、こどもには安心感を与え、大人には交通安全の効果や、ボランティア活動への意識の高揚に繋がりました。

【協働】みんなでこどもの安全見守りたい

【坂井】さかいマイロード事業

幹線道路沿いの主要な交差点に交通安全標語を記したかがしのモニュメントを展示しているが、展示期間が長いかがしや展示棟に、破損が見られたため、修繕しました。かがしは交通安全の呼びかけだけでなく、地元住民や団体が自らかがしを制作することにより地域の輪が広がり、「かがしのまち坂井」をアピールすることにも繋がっています。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

坂井市では、寄附金の使い道を市民から募り、その決定にまで市民の意思を取り入れるという全国で唯一の取り組みを行っています。いただいた寄附は市民提案事業に活用しており、平成２９年度は、「みんなでこどもの安全見守りたい」（事業費 3,456 千円）と「さかいマイロード事業」（事業費 455 千円）を事業化することができました。また、平成３０年度は、「こどもの森保全事業」（目標額 ３ 千万円）と「おかえりＵターン就職 奨学金支援事業」（目標額 １ 億円）を事業化します。

応援しています！～寄付者の声～

- 寄附した事業が達成に至ったことを嬉しく思ってます。ますます魅力的な街になりますよう祈っています。
- 未来のため、子どもたちの住みよい環境作りを今後も頑張ってください！

感謝しています！～住民の声～

- 寄附市民参画制度は、一般市民が市政について考える良い機会であり、良いまちづくりの第一歩となっています。
- いただいた寄附で市民が願った事業が実現化できています。

福井県

永平寺町

永平寺町は、県の北部に位置しており県内最大の河川九頭竜川が中央を流れています。

ミシュラン・グリーンガイド・ジャポンで２つ星の評価を得た、曹洞宗大本山永平寺や、吉峰寺・松岡古墳群など多くの歴史文化資源が集積するほか、２大学等が立地する学園都市でもあります。

〔人口〕　１９，８８３人（H27.10.1）

〔面積〕　　９４，４３㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

３８３件　１０，７４２千円

「大本山永平寺」

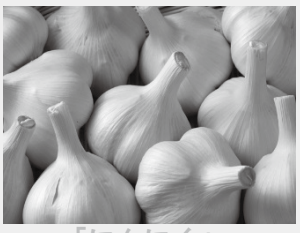
寛元２年（１２４４年）、道元禅師によって開創建された出家参禅の道場です。

「永平寺参ろーど」

住民や観光客の移動手段として、自動運転「永平寺モデル」の確立を目指しています。

「あゆ」

清流九頭竜川では、解禁期間になると、県内外から大勢の太公望でにぎわいます。



「にんにく」

通常のものより粒が大きく、栄養価が高い「福地ホワイト六片」を生産しています。

「住んでみたい」まちづくりを目指してます

永平寺町では全地区に自主防災会が組織化されています。町では、自主防災会の活動費や避難用具のヘルメット・誘導旗等の資機材購入費の補助を行なっており、自主防災会の活動支援のために活用されています。

自主防災組織が行っている訓練の様子

新刊を読んでいる様子

永平寺町では、ふるさと納税を活用し、子どもから大人までより多くの本と出会える図書館となるよう取り組んでいます。利用者は、定期的に購入される新刊本を楽しみにしており、話題作や人気作が、いち早く取り揃えられるよう、また、利用者からのリクエストにもできる限り応えるよう努めています。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

「子育て支援の充実を目指す事業」では、皆様からいただいた寄付を幼稚園・幼児園施設のリフレッシュ工事や、老朽化した施設の修繕などに活用しております。老朽化した箇所を安全かつ快適に過ごせるように整備することで、子どもたちの健やかな成長を支えています。また、待機児童ゼロを維持し、毎年約650 人の園児が、町内 10 園の幼児園・幼稚園に通園し元気に活動しています。積極的な子育て支援施策を行うことで、人口減少に歯止めを掛け、地域活性化に努めています。

応援しています！～寄付者の声～

- 永平寺町の空気が好きでよく訪れています。雪の時期は大変かと存じますが、応援しています。
- 日本の発展は地方から、地方の活性化を応援しております。

感謝しています！～住民の声～

- 安心して子どもを預けられる環境に日々感謝しています。子育て支援の手厚い町に住んで良かったです。
- 地域の防災機材を整備していくうちに、地区の方も防災意識が高揚したような気がします。

福 井 県

池　　田　　町

池田町は山あいの小さなまちです。人口は約 2,700 人、町面積の９割以上は山林、ショッピングセンターもコンビニもありません。信号機は二つ。どちらもほぼ点滅しています。

それでも、自分たちで生きる糧をつくり、楽しみをつくり、集い、分かち合う、人間サイズのコミュニティがあります。

〔人口〕　２，６１５人（H30.8.1）

〔面積〕　１９４，６５㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

１４件　４３０千円

「ツリーピクニック アドベンチャーいけだ」

日本最大級を誇るメガジップラインは、県外客も多い大人気施設。

「こっぽい野菜※1」

町内で生産される野菜は、独自の有機栽培基準で生産され、手間を惜しまず、各家庭で育まれています。

※１池田町産マーケットなどで販売されている、池田町の野菜などのこと

「龍双ヶ滝」

【日本の滝１００選】高さ６０mから降り注ぐ水量豊かな姿に、龍が住んだという伝説が語られる名瀑。

「池田町産コシヒカリ」

山あいの豊かな自然、寒暖の差で育てられた特別栽培されたお米は、知る人ぞ知る美味しいお米と評判。

ふるさと納税をまちそだてに

池田町へのふるさと納税は、「まちづくり自治基金」として、町内で自主的に町のために何かしたい、もっとこんなことができたらいいのにという方々の活動費として活用されます。町内で活動される個人・団体からの申請を、町民の方やふるさと納税された方で構成される「まちづくり自治委員会」で審査します。

地元のおまつりで町内女性が活躍

移住者の方が主催した児童劇団は毎年満員

一般町民の方がふるさと納税を直接使える仕組みとして、「ちっちゃな幸せ実現事業」は、平成２１年からさまざまな“まちの活動”を応援しています。これまでの行政支援にはなかったけれど、費用の面で躊躇していたまちづくり活動で実現したいことがあれば、気軽に申請することができます。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

「ちっちゃな幸せ実現事業」では、これまでにさまざまな形で、活用されました。「地域活動」「勉強会」「子育て」「イベント」「環境」「芸術文化振興」など、ジャンル・老若男女を問わず、池田町のまちそだてに活用されています。

さらに平成３０年度からは、補助額を増やし学生さんの補助率も最大１００％になりました。

応援しています！～寄付者の声～

- 私のふるさとであり、育ったまちに何かできると思い毎年しています。これからも応援してます。
- 在学の夏休み期間中に、町に訪れたことがきっかけでいけだが好きになりました。はじめて、ふるさと納税させていただきます。

感謝しています！～住民の声～

- ママ友同士で、こんなことできたらいいなを話していたら、事業のことを知り、カタチにすることができました。ありがとうございます。
- 他の町ではこんな取り組みを聞いたことが無いので、今後もできることをしていきたいです。

福 井 県

南　越　前　町

南越前町は、福井県のほぼ中央に位置する海・山・里の地形の変化に富んだ自然豊かな町です。
京と北陸を結ぶ北国街道の宿場町として栄えた「今庄宿」、日本遺産に認定された「河野北前船主通り」など、多彩な歴史資源に恵まれています。

〔人口〕　１０，７９９人（H27.10.1）
〔面積〕　３４４㎢
〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕
１，３６０件　３５，６１２千円

「花はす公園」
３．３ｈの敷地に約１３５種類の花ハスが咲き誇ります。７月には、約１か月間はすまつりを開催。

「今庄宿」
近世の大宿場町であった今庄宿。当時の面影を留めており、その保存・活用に取り組んでいます。

「河野北前船主通り」
平成２９年日本遺産認定。北前船が栄えたかつての賑わい・歴史を垣間見ることができます。

「つるし柿」
燻して丁寧に作られる今庄のつるし柿。江戸時代から、旅人の食料として重宝されてきた歴史があります。

ふるさと納税で活力の花ひらくまちへ

南越前町では、「海と緑と歴史の恵みに抱かれて、出会いから活力の花ひらく町」の実現に向けた６つの基本目標達成のための事業に、ふるさと納税を活用しています。
「①町民に優しいまちづくり」として、保健・医療・福祉・介護の充実、子育て支援と次世代育成に活用。「②安全安心して暮らせるまちづくり」では防災・防犯・交通安全対策。

今庄・旧玉村邸活用プロジェクト

今庄宿のまちなみ

「③活き活きと働けるまちづくり」は農林水産業・商工業・観光の振興、「④人と文化を育むまちづくり」は教育の充実と環境の整備、生涯学習社会の充実。「⑤住民主体のまちづくり」、「⑥効率的な行財政運営によるまちづくり」と、幅広い事業において活用しています。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

今庄・旧玉村邸活用プロジェクトは、今庄宿の空き家をゲストハウスに生まれ変わらせる取り組みです。旅人と地域の交流拠点となるようなゲストハウスを目指し、地域の魅力を内外に発信したり、多くの方に関わっていただけるよう、地域資源を活かしたイベントを実施しています。北国街道沿いにある、町屋の雰囲気を残す建物を改修中。平成３０年度にゲストハウスが開業予定です。

応援しています！～寄付者の声～

- 祖母の家があり、子供の頃はよく遊びに訪れていました。優しい人も多く素敵な町だと思っています。また近いうちに訪ねたいと思います。
- 素晴らしい名産品が末永く継承、保護される環境作りをお願いします。

感謝しています！～住民の声～

- 南越前町にたくさんの想いを寄せていただき、ありがとうございます。
- これからも応援してくださいますよう、お願いいたします。

福 井 県

越　　前　　町

越前町は、福井県嶺北地方の西端に位置しており、潮風が心地よい日本海の「海」に加え、懐かしい「土」の香りがする風土、優しい「里」が育んだ文化など、それぞれの特徴が合わさり、多彩な文化、多彩な風土を楽しむことができる町です。

〔人口〕　２１，５３８人（H27.10.1）

〔面積〕　１５３．１５㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

１，０６５件　４９，１９０千円

「越前焼と越前陶芸村」

日本六古窯のひとつ越前焼の産業振興と拠点として越前陶芸村は日々越前焼の魅力を発信しています。

「オタイコ響」

８月に行われる和太鼓の１大フェスティバル。全国からプロが集い迫力のある演奏を繰り広げます。

「越前がに」

日本海の荒波をくぐりぬけ育った「越前がに」は、甘くひきしまった肉質で知られている冬の王様です。

「越前水仙」

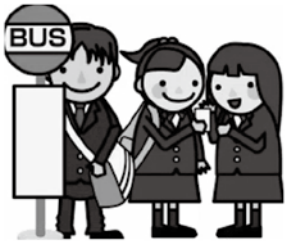
越前海岸は日本水仙の三大群生地として広く知られており開花シーズンは斜面が水仙で埋め尽くされます。

高校生の通学支援を補助して定住促進へ

越前町から町内外の高校に通学している学生のバス・電車代を、町の推奨ルートを利用する場合は、保護者の購入額が月額5,000円になるように助成します。

通学する高校によっては高額になる交通費を助成することで、子育て支援及び定住促進へとつなげることを目的としています。

通学用バス・電車代（定期券）の購入助成



高校生のいる世帯の定住促進につなげています

この事業の財源は町の単独経費であるため、ふるさと納税を活用させていただいています。

特に過疎化のすすんだ山間部・沿岸部等は通学費も高額になる傾向があるため、定住への働きかけへとつながっています。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

越前町は近年の少子高齢化に加え、過疎化により都市部の市町に転出する世帯も多く、移住・定住に対する施策が強く求められています。みなさまから寄附いただいたふるさと納税は、上記の通学費の支援事業のほか、老朽化した小・中学校の改修など、特に児童・生徒の生活環境の向上に使用しています。

また、伝統工芸品関連等、町の魅力強化にも活用させてもらっています。

応援しています！～寄付者の声～

・越前町は自然豊かで風光明媚なすばらしいところ。一年に一回は行くようにしています。子どもたちも其処の海が好きみたい。毎年泳ぎに行っています。ご縁があるようです。

感謝しています！～住民の声～

・私の住んでいるところからの通学費は、もしこの助成が無かったら、年間 25 万円以上になります。大変助かっています。是非続けて欲しい事業です。

福井県

美　浜　町

若狭湾の澄んだ海と白い砂浜、神秘的に輝く三方五湖、耳川の清流、緑深い森林、どれもが美浜の誇る自然の景観です。基幹産業は、豊かな自然を生かした農林水産業で、近年は観光業との連携による都市部との交流が活発です。

〔人口〕　９，７７４人（H29.3.31）

〔面積〕　１５２，３５㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

１０，８７６件　１５７，６９１千円

「水晶浜海水浴場」

「日本の水浴場８８選」に選ばれており、澄んだ水ときらめく白い砂が特徴です。

「渓流の里」

渓流釣りやニジマスのつかみ取りができ、併設されたバーベキュー場でも楽しめます。

「美浜のへしこ」

「へしこ」とは、魚のヌカ漬けのこと。美浜のへしこは、減塩で旨味が強いのが特徴。

「きいぱす」

身近なエネルギーにふれ日々の生活や地球環境について「考える力」を養う体験館です。

がんばる美浜人応援事業

美浜町では、町民一人ひとりの知恵と発想を最大限に活かし、活発なコミュニケーションを通じて、地域が自立的に個性と魅力のあるまちづくりをしようとする団体に対する補助を平成 27 年度から行っています。

対象事業は、地域の活性化や課題解決等を目指すとともに、やる気と継続性があり、町の活性化に繋がると判断される地域活動等を自主的かつ自立的に行う事業です。また、新規又は既存活動の拡大若しくは拡充を図ろうとする取り組みを対象としており、事業費の５分の４(上限 40 万円)を支援しています。

雪を活用したイベント

地元特産のまるなすの収穫

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

ふるさと納税でいただいた寄付により「がんばる美浜人応援事業」を展開したところ、町民の方が自発的に活動する一つのきっかけとして本事業を利用していただき、地域コミュニティの活性化や交流人口の拡大、特産物の開発・生産が図られました。今後も、いただいた寄付を有効に活用し、町全体の活性化につなげていきたいと考えています。

応援しています！～寄付者の声～

- 美しい自然をいつまでも守ってほしい。
- 海が末永くきれいでありますよう願っています。
- 人口減少を抑える施策の展開に期待しています。

感謝しています！～住民の声～

- 町内外の人に美浜町の魅力を知ってもらうためのイベント開催にあたり、企画の充実拡大に「がんばる美浜人応援事業」を活用しました。来場された多くの人に喜んでもらうことができて良かったです。

福 井 県

高　浜　町

高浜町は福井県のいちばん西に位置する小さな町です。

当町はビーチ・マリーナの国際環境認証をアジアで初めて取得した海水浴場、薬草の宝庫で若狭富士と呼ばれる「青葉山」など多くの自然が溢れています。

〔人口〕　１０，５９６人（H27.10.1）

〔面積〕　７２㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

３７４件　１４，３８３千円

「海」

８㎞にわたる砂浜に８つの海水浴場があり、どの海水浴場も白い砂浜、遠浅で抜群の透明度を誇る綺麗な海です。

「青葉山」

標高６９３mの別名「若狭富士」と呼ばれる美しい山で高浜町のシンボルです。山頂からは内浦湾などの絶景を楽しめ、登山客にも人気です。

「若狭ふぐ」

日本海の荒波にもまれ、低水温で育った「とらふぐ」は身がよく引き締まり脂の乗りがよく、最高の歯ごたえがあります。

「ＳＵＰ・シーカヤック」

ＳＵＰやシーカヤックを使って世界が認めた海を海歩きします。波の静かな場所でするので、初心者でも大丈夫！

新たな挑戦　バリアフリー海水浴場

高浜町では、100 年後の子ども達に美しいビーチを残したいという思いから、ビーチの国際環境認証 BLUE FLAG の取得に取り組み、平成 28 年 4 月にアジア初の認証を受けました。また、身体的・発達的、経済的理由等で、海との関わりをあきらめていた子ども達が安心して海との関わりを持てるような環境整備を進めています。

アジア初世界基準で認められた海

ユニバーサルビーチの実現

その一環として、平成 29 年度にクラウドファンディングでビーチマット導入の支援費用を募りました。ビーチマットを導入することで、車いす等で誰もが気軽に海辺まで近づけるようになります。これからも BLUE FLAG を取得した若狭和田ビーチを愛する全ての人達と協働で「ユニバーサルビーチ」の実現に取り組んでいきます。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

日本の多くのビーチでは、車いすの方が海を楽しめる環境は整っていません。海岸沿いまでスロープが設置されているビーチは増えてきましたが、波打ち際まで行ける通路がなく、一般的な車いすでは砂浜にタイヤが埋まってしまい、海水に触れることすら困難です。ビーチマットを導入することで、ハンディキャップがある人も、砂浜の歩行が難しいお年寄りも、ベビーカーを押すお父さんお母さんも、小さな子どもも、誰もが心からビーチを楽しめる環境が整備されます。

応援しています！～寄付者の声～

- 身体の不自由な方々でも気軽に綺麗な海にいけるような施設や環境になることを願っています。
- 子供のころ、毎年連れて行ってもらった海水浴の楽しい思い出がよみがえりました。誰もが楽しめる、美しいビーチを目指しましょう。

感謝しています！～住民の声～

- 若狭和田ビーチには毎年多くの観光客が来られますが、車いす等の理由で海水浴を断念されるお客様もいました。そのような方でも海を楽しめる環境が整備されることは、地元住民にとっても大変喜ばしいことです。

福 井 県

若　　狭　　町

若狭町は、地質学的年代を決定するうえで世界標準となった年縞のある「国指定の名勝 三方五湖」などの豊かな自然や、宿場町として昔ながらの町並みが残る「国選定の重要伝統的建造物群保存地区 熊川宿」などの歴史資産を有し、自然と歴史文化が薫る町です。

〔人口〕　１５，２５７人（H27.10.1）

〔面積〕　１７８．６５㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

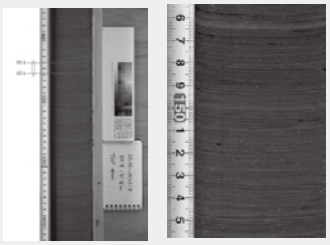
３，５３６件　６２，７６３千円

「三方五湖」

国際的に重要な湿地を保全するラムサール条約に登録されています。

「熊川宿」

多くの物や文化が行き交い栄えた宿場町「熊川宿」は国の重要伝統的建造物群に選定されています。



「年縞」

考古学や地質学における年代測定の「世界標準ものさし」に採用されました。

「福井梅」

福井県産の出荷量は全国第５位で、若狭町の梅は福井県産の約７割を占めます。

小中学校の備品をふるさと納税で整備

若狭町では、ふるさと納税を活用し、町内の小学校、中学校へ支援を行っています。

小学校へは、備品の購入や、施設の修繕などの財源として活用されています。

具体的にはストーブ、椅子、テント、読書感想文課題図書、デジタルカメラ、生物顕微鏡、一輪車などを購入させていただきました。

ふるさと納税で整備したストーブ

ふるさと納税で整備した実験道具

中学校へは、備品の購入や、施設の修繕などの財源として活用されています。

具体的にはストーブ、電子ピアノ・フルート等の各種楽器、電気分解・燃料電池実験器等の実験道具、大型コンパス、タブレットパソコン、デジタル温湿度計などを購入させていただきました。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

「若狭町ふるさと応援寄附金」では、小学校・中学校の備品の購入や、施設の修繕、環境保全対策、河川維持管理活動、熊川宿の保存整備、三方五湖の自然再生促進などに活用しています。

応援しています！～寄付者の声～

- 日本の原風景のあるよい町だとおもっていますので、頑張ってください。
- 小学校時代に臨海学舎でお世話になったところなので懐かしく、何かの役に立てればと思っております。

感謝しています！～住民の声～

- ストーブのおかげで温かいです。ありがとうございます。
- 皆さんのおかげで新しい備品が使えます。ありがとうございました。

山梨県

甲　州　市

「豊かな自然、歴史と文化に彩られた果樹園交流のまち」を将来像に掲げる本市は、市の面積の約７割を森林が占め、それに伴う水資源など、四季を通して自然環境を満喫できる環境にあり、恵まれた大地に育まれた高品質の果実は、全国有数のフルーツ王国として知られています。

〔人口〕　３１，６７１人（H27.10.1）

〔面積〕　２６４㎢

〔ふるさと納税寄付額（Ｈ２９年度）〕

２７，８１４件　５４８，９１９千円

「フルーツ」

甲州市は、さくらんぼ、すもも、桃、ぶどう、ころ柿と全国有数の果物の産地です。

「ワイン」

本市は、日本のワイン産業発祥の地であり市内には３７社のワイナリーが集積しています。

「日本農業遺産」

盆地特有の扇状地とぶどう棚がおりなす景観は甲州市特有の景色として人気を集めています。

「大菩薩嶺」

日本百名山の一つ大菩薩。展望に恵まれた穏やかな山稜が続く、初心者にも人気の登山スポットです。

生み・育むことにやさしいまちづくり

甲州市では、「生み・育むことにやさしい環境の創出」を目指し皆様からのふるさと納税を活用しています。「甲州市こども医療費助成」では、子どもたちの健やかな成長と子育て支援の増進を図ることを目的に、就学児から中学３年生までを対象に、通院・入院にかかる医療費の助成を行っています。

甲州市の元気な子供たち

予防接種の様子

また毎年全国で猛威を振るうインフルエンザの予防接種に対して１歳～小学６年生まで年一回２，０００円の補助事業にも活用しています。

インフルエンザ予防接種費用の一部を補助することにより、インフルエンザへの罹患の防止と重症化を予防し健康の保持・増進を図ることを目的とし、実施しました。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

平成２９年度インフルエンザ予防接種費用補助実績　１，５６３回
平成２９年度甲州市こども医療費助成実績　２，７４８人、　３８，２９０件となっており、ふるさと納税制度の導入により、本市では平成２６年度には入院と外来への助成対象を中学３年生（１５歳）まで拡充することが出来ました。また、平成３０年度からは助成対象を高校３年生（１８歳）の入院費助成へと更なる子育て支援の充実を図ることが出来ました。

応援しています！～寄付者の声～

- 豊かな自然を守っていくためにも、子どもたちが健やかに育つ環境を整備していただければと思います。
- 子ども達が毎日、明るく過ごしていけるように力添えお願いします。

感謝しています！～住民の声～

- 冬になると、子ども全員インフルエンザ予防接種をさせてもらっています。補助を活用させていただき大変助かっています。

長野県

白　馬　村

長野県の北西部、3,000m 級の北アルプスの麓に位置する人口約 9,000 人の村です。民宿発祥の地として、登山やスキーなど観光で発展し、1998 年には長野オリンピックの会場となりました。

近年は外国人の観光客や定住者も多く、国際的観光地として雄大な自然環境に加えて多様な人々も地域の魅力です。

〔人口〕　８，９２９人（H27.10.1）

〔面積〕　１８９．３６㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

６，００１件　２１１，１７５千円

「国内最大級のスキー場」

壮大な山岳地形と豊富で良質なパウダースノー。初心者から上級者まで誰でも雪を満喫できます。

「白馬ジャンプ競技場」

長野五輪の感動の舞台。スタート地点からは選手の目線と白馬の街並みを楽しむことができます。

「白馬三山を映す八方池」

ゴンドラとリフトを乗り継ぎ、雲海や紅葉を楽しみながら約９０分歩けば標高約2,000m絶景の八方池に。

「その他にもたくさん…」

四季を通じて楽しめるアクテビティや温泉、お米、そば、果物、野菜、お酒など遊びも食も魅力たっぷり！

地域資源を活用して魅力的な白馬高校を守り創る

多くのオリンピック選出を輩出していながらも、生徒数の減少により存続の危機に瀕した村内唯一の高校である県立の白馬高校。地域に愛される魅力的な学校であり続けられるよう、恵まれた山岳環境や村内外の多様な人材など、地域資源を活かした学びを実現するために、村として県立高校への支援を行っています。

地域内外の企業とコラボした宿泊プランづくり授業

ニュージーランドへの短期留学

新たに設置した「国際観光科」の学習支援、全国から募集した生徒を受け入れる教育寮の運営、公営塾での受験対策・英会話・プロジェクト学習、広い視野や学びのきっかけを得る講演会の開催、海外留学支援など、あらゆる側面から生徒の学びをサポートし、村の未来を背負って立つ人財の育成を目指しています。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

全校生徒数：１４７名（H２６）→２０９（H２９）
公営塾「しろうま學舎」塾生：４７名（H２９）
教育寮「しろうま Pal House」寮生：４５名（H２９）
海外短期留学：１６名（H２９）　＜ニュージーランド １５日間＞
グローバル講演会：３回（H２９）＜講師：岡田武史さん、上村愛子さん、湯浅誠さん＞

応援しています！～寄付者の声～

・我が子と同世代の子どもたちが頑張っている姿に、未来の夢を見させていただきたくて寄付しました。子どもたちの未来に地域差が生じないよう、全国の地方の高校に夢を与えながら、未来からの留学生のために素晴らしい学校にしてください。

感謝しています！～住民の声～

・地元生と県外生が一緒に地域の行事やイベントで活躍していて、学校だけでなく街の賑わいも感じています。英語や観光、地域学習なども含めて校内外の多様な学びを得て、生徒たちが創る未来の白馬村が楽しみです。

岐　阜　県

岐阜県は日本のほぼ中央に位置しており、豊かな森林や美しい清流、それらが育んだ歴史、文化が魅力的な「清流の国」です。

県内には国内外で人気の観光地「白川郷」や「飛騨・高山」がある他、近年は、アニメや映画、ドラマの舞台としても注目されています。

〔人口〕　２，０３１，９０３人（H27.10.1）

〔面積〕　　１０，６２１㎢

〔ふるさと納税寄付額（Ｈ２９年度）〕

９４８件　３３，６３３千円

「長良川と鵜舟」

岐阜市の中心部を流れる清流「長良川」。毎年５～１０月には鵜飼が開催される。

「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」

Ｈ３０年３月にリニューアルオープンした国内唯一の航空と宇宙の本格的な専門博物館。

「白川郷合掌造り集落」

ユネスコ世界文化遺産に登録されている白川郷。世界中から観光客が訪れる。

「飛騨牛」

岐阜県が世界に誇る和牛ブランド。県では「和牛日本一」を目指して取組んでいる。

県内唯一のプロスポーツチームＦＣ岐阜を応援！

岐阜県ではふるさと納税の使い道の１つとして「ＦＣ岐阜の活動支援」を設定しています。

ＦＣ岐阜は、本県唯一のプロスポーツクラブであり、県、県内市町村及び県内経済界からの出資を受け、地域密着型の県民クラブとして活動しており、数多くの地域貢献活動を通じて県民とともに歩み、夢を共有する貴重な存在です。

寄付金を活用して、県内の中高生のサッカーチームや児童養護施設等の子ども、障がい者アスリートをＦＣ岐阜のホームゲームへ招待しています。

FC 岐阜の選手たち

ホームゲームでの応援風景

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

「ＦＣ岐阜の活動支援」へいただいた寄付を活用し、県内の中高生のサッカーチームや児童養護施設等の子ども、障がい者アスリートをＦＣ岐阜のホームゲームへ招待しています。実際の試合を観戦してもらうことにより、郷土への愛着・誇りを醸成するとともに、地域スポーツの振興に役立てています。

応援しています！～寄付者の声～

- これからも FC 岐阜への応援をよろしくお願いします。
- FC 岐阜をどんどん盛り上げていきましょう。

岐 阜 県

郡　上　市

郡上市は北から南まで約 52km あり、北では雪が 2 メートルも積もっているのに南ではほとんど雪がないといった多様性があります。
夏はおどりや鮎の友釣り、冬はスキーや温泉を楽しむ観光客で賑わいます。

〔人口〕　４２，０９４人（H27国勢調査）
〔面積〕１，０３０．７５㎢
〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕
９１８件　４２，１１９千円

「盆おどりのまち」
「郡上おどり」「白鳥おどり」「白鳥の拝殿踊り」の３つの盆踊りが存在する日本一の盆踊りのまちです。

「ウインタースポーツ」
関西、東海の大都市圏からアクセス良好な郡上のゲレンデには、多くのスキーヤーが訪れます。

「清流長良川の鮎」
世界農業遺産「清流長良川の鮎」。清流と鮎は地域の経済や歴史、食、文化と深く結びついています。

「食品サンプル」
郡上市は食品サンプル発祥の地と言われており、今ではキーホルダーやスマホスタンドも作られています。

郡上カンパニープロジェクト推進事業

郡上市外から移住してきた人々で「未来につながる仕事」を創出していく「郡上カンパニー」に、寄附金の一部を充当しました。
郡上市への新しい人の流れを作るとともに、市内での起業を促すことで、移住だけでなく仕事と雇用を創出するのが目的です。
「ローカルアイデア会議」で提案された事業の種を郡上のプロジェクト

コンセプトは「根っこのある生きかたを、つくる。」

「郡上カンパニー」のイメージ図

パートナーと都市部に住む人が「共創ワークショップ」でブラッシュアップ。選考の上採択された「未来につながる仕事」は、事業化に向けて創業パートナーを募集します。
創業パートナーには、郡上に移住して本気で事業に取り組んでいただきます。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

ローカルベンチャーアイデア会議 共創ワークショップ	１か月かけて郡上中からアイデアを募集。２２事業がエントリー。 郡上から持ち込んだ８つの事業に対して、２６名の都市部の参加者と郡上市内で交流を深めながら、アイデアを磨き上げる。
第１期未来事業プロジェクト	郡上に移住した創業パートナーが取り組む８事業が、起業に向けて始動。

応援しています！～寄付者の声～

- 最近では若い人が新しいお店をされていたりして、ますます魅力的だと思います。今後も素敵な街づくりを応援しています。
- 郡上おどりや郡上紬など良き文化資産を活用し、その維持発展にお使いいただければ幸いです。

感謝しています！～住民の声～

- この事業を契機に、郡上市内での創業の盛り上がりと、都市部との交流が活発になることを期待しています。

岐 阜 県

笠　松　町

岐阜県の南西部に位置し、木曽川を隔てて愛知県と接しています。町の約３分の１を木曽川が占めており、自然と都市化がうまく共存できているまちです。また、江戸時代に「美濃郡代笠松陣屋」、明治時代には「県庁」が置かれ、この地方の政治経済、文化の中心となり栄えてきました。

〔人口〕　２２，７５０人（H27.10.1）

〔面積〕　　１０．３㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

２，２６３件　２４，１１２千円

「笠松競馬場」

レース以外にも様々なイベントが催されます。あの名馬オグリキャップを輩出した競馬場でもあります。

「笠松町運動公園」

町公式マスコットキャラクターをモチーフとした遊具があり、たくさんの子供たちで賑わっています。

「笠松歴史未来館」

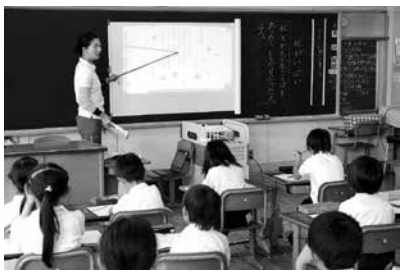
町の歴史・文化、伝統芸能や民具を展示しているほか、企業等の協力で未来志向の展示も行っています。

「笠松みなと公園」

木曽川沿いに位置するこの公園は、四季折々の風景や各種イベントを楽しむことができます。

子どもたちの笑顔あふれる教育環境

町には３つの小学校と１つの中学校があり、約 1,700 人の児童生徒が学んでいます。その子どもたちが、これからの街を支える大きな「宝」であるとの想いから、いただいた寄附を“学習環境の整備”を目的とし、電子黒板をはじめとしたＩＣＴ機器整備による「情報教育ネットワーク事業」と外国人英語指導による「特色ある教育活動推進事業」に活用しました。



ＩＣＴを活用した授業の様子

新たに購入した給食センタートラック

また、これらの事業に加え、児童生徒に安全で安心して食べられる給食をお届けできるよう、学校給食センターのトラックも購入しました。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

笠松小学校教諭から、次のようなお言葉をいただきました。
「ＩＣＴが導入されたことで、教材作成等の準備の時間が減り、その分、個別指導等子どもに直接向き合える時間が増えたことや、授業に対する子どもたちの意欲の高まりを感じています。ＩＣＴの活用で、分かりやすく楽しい授業が出来ると同時に、効率よく授業をすすめることができるようになりました。このように教育環境が整った学校で授業ができることを大変うれしく思います。」

応援しています！～寄付者の声～

- 笠松川まつりを毎年楽しみにしています。隣の県民ですが応援しています！
- 昔、笠松町民でした。遠くから応援しています。
- 返礼品の種類が多くて魅力的です。微力ではありますが、町の活性化に役立ててください。

感謝しています！～住民の声～

- これまで、街路灯が新しくなったり、町民バスが新しくなったり、教育現場が充実したりと、ふるさと納税が目に見える形で町の活性化や利便性の向上につながっていて、とてもありがたいことです。

静 岡 県

西　伊　豆　町

西伊豆町は、伊豆半島の西海岸中央に位置し、西に駿河湾、東に急峻な山並みの天城山系が連なっています。かつての海底火山だった痕跡が随所にみられる自然景観と、豊富な温泉に恵まれています。駿河湾に沈む夕陽はまちの誇りで、「夕陽日本一」を自称しています。

〔人口〕　８，２３４人（H27.10.1）

〔面積〕　　１０６㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

５７，６０９件　１，１２１，７１２千円

「伊豆半島ジオパーク」

H30年４月にユネスコから世界ジオパークに認定された景勝地です。

「夕陽のまち」

“ふるさと”と言いたくなる夕陽のまちをキャッチコピーに、夕陽を題材としたまちづくりをしています。

「手火山式本枯れ田子節」

日本が誇る旨味調味料「鰹節」のなかでも最高級の本枯れ節を、昔ながらの製法を守り作っています。

「水わさびの伝統栽培」

H30年３月に「静岡水わさびの伝統栽培」が世界農業遺産に認定されました。天城山の清水で育てています。

漁業活性化のための稚貝・稚魚放流事業

かつての西伊豆町は、カツオ・マグロを追い求める遠洋漁業の基地として栄える港町でした。また、民宿が盛んだった頃には近海でも多くの海女さんが漁を行っていましたが、少子高齢化や時代の流れと共に漁業の衰退が進み、現在の西伊豆町は観光に特化した産業形態となっています。これからも若者がまちに住み続けられる環境づくり、町の特色を生かした産業づくりの観点から、漁業就労者の維持はとても重要で、漁業の賑わいを創出することが課題となっています。

漁港の風景

放流の様子

平成 29 年度からは、３年間を目途にガバメントクラウドファンディングで調達した資金を用いてアワビ稚貝とヒラメ稚魚の放流事業を実施しています。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

これまでも漁協が一部の海域で少量の放流を実施していましたが、ふるさと納税の資金を活用することで、より規模を拡大した効果的な放流を実施することができます。平成 30 年 2 月 16 日にアワビ2万個、同年 5 月 18 日にヒラメ１万尾を放流できました。成果が表れるのは数年後になります。今後の西伊豆町の変化にご期待ください。

応援しています！～寄付者の声～

- 稚貝、稚魚の放流で海の資源が豊かになる事は、観光客にとってもとても嬉しい事です。
- 自然相手の効果が測りにくいことにもチャレンジする貴町の取組みに共感しました、応援しています！

感謝しています！～住民の声～

- 放流したアワビが大きくなり、西伊豆町を応援していただける皆様にお届けできる日が来るのを楽しみにしています。
- 高齢になり引退を考えていましたが、やる気が出ました。ありがとうございます。

愛 知 県

碧　南　市

碧南市は温暖な気候と風土に恵まれ、窯業、鋳物、醸造などの伝統産業と近代的な輸送用機器関連産業などがバランスよく存在し、さらには、商業、農業、漁業とも調和のとれたまちです。

〔人口〕　７１，６８５人（H27.10.1）

〔面積〕　　３５．８６㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

３６，２４９件　５４７，６３６千円

「花しょうぶ園」

花しょうぶは市の花に指定されており、６月が見頃です。

「大浜てらまち」

寺院や古い町並みが残り、歴史を感じながら町を散策できます。

「へきなん美人」

ブランドにんじん「へきなん美人」は糖度が高く地元でも手に入りにくい品です。

「九重味淋大蔵」

古くから醸造のまちとして栄え、九重味淋大蔵は国の登録文化財です。

遊園地／ランチで子どもの笑顔いっぱい

「碧南満喫スペシャルプラン」は、１００万円以上の寄附で碧南市内の公共施設の貸切利用と市内にあるホテルのランチバイキングの貸切利用ができるというプランです。

明石公園

ホテル、レストランのスタッフ

当初は会社の福利厚生で利用する等を想定していたが、最初の寄附者が権利を児童養護施設に譲渡したことがメディアで紹介され、以後、全ての寄附者が同様に権利を譲渡しています。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

ふるさと納税の在り方が問われる昨今、モノからコトへ変わる事例です。この事業に関わった自治体職員、施設の職員をはじめ、多くの関係者がふるさと納税の可能性を感じる事業となりました。

応援しています！～寄付者の声～

・モノではなくコトに寄附できる仕組みにとても共感しました。

感謝しています！～住民の声～

・とても貴重な体験ができた。貸切で利用でき、遊園地もバイキング目一杯楽しむことができました。

京　　都　　府

日本列島のほぼ中央に位置する京都府は北部を日本海に面した南北に細長い形です。明治まで都がおかれ千年を超える歴史と伝統を持つ京都市域が有名ですが、府南部から中部、北部にかけても「お茶」「森」「海」をテーマに、「もうひとつの京都、行こう。」キャンペーンを実施中です。

〔人口〕２，６１０，３５３人（H27.10.1）

〔面積〕　　４，６１３㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

２５５件　１１，５２５千円

明治150年 京都創生

「明治１５０年京都創生」

明治１５０年の今年、将来にわたる新たな文化・産業振興の再飛躍につなげる契機とします。

「お茶の京都（南部地域）」

日本茶のふるさとをとらえ、景観維持やお茶産業の振興、お茶文化の発信を進めます。

「森の京都（中部地域）」

京の都を支えた貴重な森をとらえ、林業活性化や森の文化の発信を進めます。

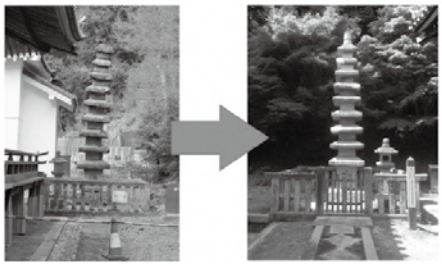
「海の京都（北部地域）」

数々の神話伝説の舞台となった天地山海の景観を生かした観光地として発信を進めます。

こころのふるさと京都の文化財を未来に伝える

長い間、日本の都であった京都には数多くの貴重な文化財があり、これらを地震・火災等から守り、保存・修理することで、未来に伝えていく必要があります。

京都府では、平成 20 年７月に「文化財を守り伝える京都府基金」を設置し、ふるさと納税制度を活用した文化財保護に取り組んでいます。



宝積寺石塔を修理

高山寺石水院の築地塀を修理

いただいた寄附金は、①歴史的建造物などの有形文化財の保存・修理のための事業、②地震・火災等から有形文化財を守るための事業、③文化財保護のこころを育む事業、のために使用しています。

どの文化財保護事業に補助するかは、現地調査で文化財の状況を確認した後、文化財の専門家の意見を伺った上で決定しています。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

「文化財を守り伝える京都府基金」の設置以降、平成 29 年度までに 189 件の文化財保護事業に助成し、皆様の御寄附を基にした助成支出額も１億５千万円を超えました。

補助を行った小さな神社の本殿が、修理中に発見された墨書の内容から、その地域最古の神社建築と判明し、市の指定文化財となるといった嬉しい報告もいただいています。

皆様からの御寄附で、貴重な文化財が守られ、次の世代に伝えられています。

応援しています！～寄付者の声～

- 日本の歴史的・文化的遺産を守ってください。
- 京都の文化のために役立ててください。
- 京都は大好きな街です。歴史ある文化財の保存に役立てて欲しいです。
- 寺社や遺跡の修復費に活用してください。

感謝しています！～住民の声～

- 祖先から引き継いだ建物を個人の力だけで守るのは大変です。専門家の助言を受けて修理することができ、大変感謝しています。
- 台風で損壊した建物の再建に取り組む中で、地域で文化財保護への理解が深まりました。

大阪府

泉佐野市

山、川、海に囲まれた自然環境から商業・工業・農業・漁業がバランス良く栄えてきました。関西国際空港の開港以来、宿泊需要の高まりで、商業・サービス業が盛んです。また、日本のタオル発祥の地として１３０年余の歴史を誇る「泉州タオル」は、生産量日本一を目指しています。

〔人口〕　１００，９６６人（H27.10.1）

〔面積〕　　５６．５１㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

８６２，０８２件　１３，５３２，５０９千円

「泉州タオル」

泉州タオルの特徴である後晒により吸水性が良く、独特のソフトな風合いで、安心・安全・高品質なタオル。

「泉州水なす」

ほのかに甘味があって瑞々しく生食可能な茄子。糠に漬込んだ水なす漬けが、全国的に有名です。

「りんくうタウン」

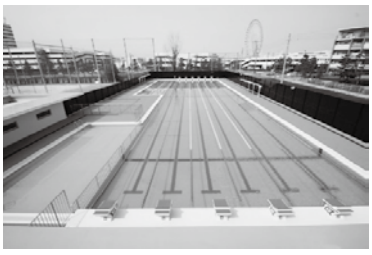
大型複合商業施設、宿泊施設、公園が集まる街。関西国際空港が一望でき美しい夕陽も鑑賞できます。

「犬鳴山」

犬鳴山は修験道の霊場がありパワースポットとして大人気。麓の犬鳴山温泉郷で心も体も癒してください。

未来を担う子どもたちの笑顔がみたいから

泉佐野市のふるさと納税は、返礼品だけではなく使い道にも力を入れています。16 の使い道のうち、多いのは教育や子育てに関する内容です。市にとって長年の懸案だった市内小・中学校のプール設備、耐震基準を満たさない校舎の耐震化、老朽化した教育施設の設備の更新や机や椅子などの備品の入替などに活用しています。



今年オープンした佐野中学校のプール

留守家庭児童会での風景

また、子どもたちの学びのサポートとして各学校での放課後学習支援や保護者が安心して仕事と子育てが両立できるような支援を目指す放課後児童対策事業、小学校全学年における 35 人以下学級の実現。就学前児童までとしていた子どもの通院医療費助成を中学校卒業年度まで拡充し、子育て世代を積極的に応援しています。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

関西国際空港開港 1 周年を記念して始まった花火大会ですが、当市の財政難から 2004 年を最後に中止となりました。その後、地元有志らが実行委員会を立ち上げボランティアによる運営で 2012 年に「ENJOY！りんくう」として復活。それでも資金集めが厳しく、毎年の開催が出来ない状況でした。地域の賑わいづくりとして、ふるさと納税による応援により、ここ数年は、毎年開催されています。夏休みの最後の泉佐野の夜空を彩る風物詩として、子どもたちをはじめ市民が楽しみにしているイベントです。

応援しています！～寄付者の声～

・自らだけでなく被災自治体を支援する姿勢に、ご協力したく、寄附いたします。これを機に、新たな自治体間の子ども交流など、体験学習の機会を相互に設け、末長い協力体制や相互支援が生まれることを期待します。

感謝しています！～住民の声～

・私が学校に通っていた頃、水泳技術を習得する授業がなかったのでプール設備充実は嬉しい。
・近隣の自治体の子どもの医療費助成の充実を羨ましく思っていたが、泉佐野市でも実現したのは嬉しい。ふるさと納税に感謝します。

兵　庫　県

北は日本海、南は瀬戸内海を経て太平洋を望み、大都市から多自然地域まで個性豊かな地域が広がる兵庫県。多様な気候風土に恵まれ、訪れるたびに新しい発見があります。

また、豊かな自然環境が育む海・山の幸のほか、スイーツやＢ級グルメなど、多彩な食を楽しめるのも魅力です。

〔人口〕５，５３４，８００人（H27.10.1）

〔面積〕　　８，４００㎢

〔ふるさと納税寄付額（Ｈ２９年度）〕

１，７０１件　１１９，１３８千円

「日本を代表する温泉地」

城崎、有馬、湯村など、数多くの名湯があり、国内外から多くの観光客が訪れています。

「世界遺産・国宝　姫路城」

「平成の修理」を終え、その白さがよみがえった別名「白鷺城」の雄美な姿は必見です。

「神戸ビーフ」

兵庫県で産まれ育ち、厳しい基準を満たした牛肉のみに与えられる世界的ブランドです。

「日本一の酒どころ」

清酒の生産量は兵庫県が日本一。県内各地に酒蔵があり、飲み比べるのも一興です。

貧困の子どもたちに温かいごはんを

厚生労働省の発表によると、約７人に１人の割合で子どもが貧困に直面しています。

「子ども食堂」は、地域の様々な団体が、公民館や空き店舗等を利用して、低額で子どもたちにぬくもりのある食事を提供する取組みです。食事の提供に止まらず、遊びや学習など、子どもの居場所として地域に根付いているところもあります。

子ども食堂で提供される食事（例）

子ども食堂での食事の様子

兵庫県では、県内に広く「子ども食堂」が開設され、子どもの将来が生まれ育った家庭の事情等に左右されることなく、輝かしいものとするため、ふるさとひょうご寄附金（ふるさと納税）を活用して「子ども食堂」応援プロジェクトを実施し、立ち上げ経費の一部を助成しています。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

平成 28 年度から始めた「子ども食堂」応援プロジェクトにより子ども食堂の認知度が高まり、平成 28 年 3 月時点では 4 ヵ所でしたが、２年後には 87 ヵ所まで増加（83 ヵ所の増）しました。このうち、「子ども食堂」応援プロジェクトで助成を行ったところは２年間で 26 ヵ所です。また、所在地も、これまで阪神間に集中していましたが、プロジェクトによって西播磨や但馬地域にも拡大しています。

平成 30 年度も、１５団体に助成を予定しています。

応援しています！～寄付者の声～

- 私の周りにも貧困にあえぐ家庭があります。ささやかな寄附ですが、ぜひこの活動を継続支援してください。
- 一人でも多くの子どもが社会の暖かさを感じられるようになればとお祈り申し上げます。

感謝しています！～住民の声～

- 助成を受けて、コンロや食器等を購入することができました。毎回多くの子どもたちに食事を提供できています。（運営団体）
- 子どもが多いので、子ども食堂はありがたい存在です。今後も続けてほしいです。（利用者）

兵庫県

淡　路　市

輝く太陽、きらめく海、温暖な気候、豊かな食材、語り継がれる国生み神話…いくつもの魅力を備えた淡路市。
中でも一番の自慢は、ここに暮らす人々です。助け合う思いやりの心、自然と融合する知恵、道を切り開く生きる力。これがまちをさらに輝きのあるものにしています。

〔人口〕　４３，９７７人（H27.10.1）
〔面積〕　１８４．３５㎢
〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕
１５，０３７件　２７０，０８６千円

「明石海峡大橋」
本州と淡路島を結ぶ全長3,９１１mの世界最大のつり橋で、パールブリッジとも呼ばれています。

「あわじ花さじき」
季節ごとに様々な花々が咲き、明石海峡や大阪湾を望む花の大パノラマを感じることができます。

「淡路ビーフ」
淡路島で生まれた淡路牛の中でも、厳しい品質規格を満たしたものが淡路ビーフです。

「たまねぎ」
淡路産のたまねぎは、温暖な気候と肥沃な土地で育ち、甘くておいしいのが特徴です。

いつかきっと帰りたくなる街づくり

淡路市では、「いつかきっと帰りたくなる街づくり」の実現にむけ、ふるさと納税を活用して、様々な事業を進めています。
一つ目は「活力ある地域づくり支援事業」です。応援したい町内会を寄附者が指定し、指定された町内会で、伝統、文化芸能の保存、町内会活動の運営などに活用されます。

下司の大名行列

岩屋認定こども園（H30.4 竣工）

二つ目は「保育料無料化事業」です。第２子以降３歳児以上の園児を対象として、保育料の無料化を行っています。ふるさと納税の約３割を活用し、多子世帯への経済支援、子育てしやすい環境整備を進めています。その他、市内の小中学校の教育環境の整備、桜の名所づくりなどの景観整備事業、防犯灯の整備などの事業にも活用しています。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

ふるさと納税を通じて、淡路島、淡路市の情報を発信することができ、多くの方に、淡路市の魅力を知ってもらうことができ、多くのファンを作ることができました。
また、現在淡路市で取り組んでいる、市内に住んでいる人たち、島外で頑張っている人たち、訪れた人たちが「いつかきっと帰りたくなる街づくり」。

応援しています！～寄付者の声～

- 食べ物がおいしく、景観の美しい、他県に誇れるふるさとであってください。
- 自然と調和した豊かな生活ができる地域であり続けていることがうれしいです。

感謝しています！～住民の声～

- 伝統文化財の改修を行い、地域のまつりである大名行列を行うことができて、よかった。
- 保育料が無料になって、家計の負担が軽減された。

奈 良 県

下　　市　　町

　下市町は、奈良県の南半分を占める吉野郡の北西に位置し、全体の 78.6%が山林です。奥吉野地方の入口として古くから政治・経済・文化に重要な役割を果たしてきました。
　吉野山地と大和平野を結ぶ交通の要衝、自然環境に恵まれたココロに響く、木と水と緑の町です。

〔人口〕　５，６６４人（H27.10.1）

〔面積〕　６１．９９㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

　　７１０件　１１，３３１千円

「広橋梅林」

月ヶ瀬、賀名生とならぶ奈良県三大梅林のひとつ。２月下旬から３月下旬が見頃です。

「丹生川上神社下社」

飛鳥時代に天武天皇によって創建された社。日本最古の水神を祀る神社として有名です。

「三宝（さんぽう）」

献上物や供物を運ぶ台。南北朝時代に献上物を載せる器として使用されたのがその始まりです。

「割箸」

下市は割箸発祥の地で「箸の町」としても有名です。

おたっしゃ下市　笑いのつどい

　下市町では、いただいた寄附金を、福祉、産業、教育及び下市町の魅力あるまちづくりに活用させていただいています。
　福祉に関して実施している事業の一つに「おたっしゃ下市笑いの集い」事業があります。

公演の様子

健康測定・健康相談の様子

　この事業では、下市町在住の 65 歳以上の高齢者を対象に、健康測定、健康相談、公演を年に 1 回開催しています。
　健康測定では主に、骨密度検査、血圧、足首可動域の測定、また、歯科衛生士による歯科検診。
　また、公演では漫才や落語、演歌歌謡ショーを実施しています。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

　公演を実施することにより、高齢者の外出を促し、閉じこもり防止や、生きがいづくりにつながっています。
　また、定期的に健康測定や健康相談を実施することにより、健康への関心が高まるので、介護予防等の普及推進が図れ、健康寿命の延伸も期待できます。

応援しています！～寄付者の声～

- 高校生まで過ごした故郷です。高齢化が進んでいると思いますので、少しでもお役に立てればと思います。
- 奈良へは何度も遊びに行きました。大好きな町を応援します。

感謝しています！～住民の声～

- 外出する良い機会になっています。
- 定期的に健康測定をしていただけて、相談にものっていただけるので、とてもありがたいです。

和歌山県
有　田　市

有田市は、海と山と川をもつ自然豊かな地域であり、みかんと鮮魚のまちとして知られています。
みかんは、450年の歴史と伝統を誇る県内一の産地で、「有田みかん」は関西を中心に全国にその名を轟かせています。また、太刀魚は漁獲量日本一を誇ります。

〔人口〕　２８，４７０人（H27.10.1）
〔面積〕　　３６．８９㎢
〔ふるさと納税寄付額（Ｈ２９年度）〕
９２，２８３件　１，２３０，６２６千円

「有田みかん」
みかんと言えば有田みかん。絶妙な甘みと酸味のバランス、深いコクが自慢の逸品です。

「太刀魚」
市の魚にも制定されている太刀魚。淡白な味わいが特徴で、漁獲量は日本一を誇ります。

「くらしちゃる矢櫃」
海の見えるまち矢櫃にある移住交流拠点施設。自然いっぱいの一軒家でお試し居住を！

「有田みかん海道」
全長5.6㎞、高低差150mの海の道。絶景を眺めながらのウォーキングやサイクリングは最高！

子供たちの明るい未来のために

有田市のふるさと納税では、寄附の使い道を①教育及び文化②産業・観光及び交流③保健・福祉及び医療④図書購入⑤スポーツ振興⑥市長におまかせ⑦NPO 支援の 7 つの中から選んでいただき、寄附を募っています。その中で、今回は有田市の未来を担う子供たちのために活用させていただいている事例を紹介します。

新築した図書館に並ぶ本

「中学生海外派遣研修」地元生徒との交流

子ども達がいろいろな本に出会い、表現力や想像力を育んでほしいという想いから、学校図書や市立図書館の蔵書購入に活用しています。
また、グローバルな人材育成のために実施している「中学生海外派遣研修」や「子ども医療費助成事業」など、皆さまの寄附は子供たちのために大いに役立てさせていただいています。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

平成 29 年 7 月に市立図書館を新築し、今まで以上に多くの市民にとって本が身近になりました。平成 29 年度には 10,343 冊の図書（視覚教材を含む）を購入しました。
「中学生海外派遣研修」は市内の中学生を対象に外国の生活・文化の理解を深め、国際感覚と広い視野を身につけるために行っている事業で、平成 29 年度には 15 名の生徒が、オーストラリアのケアンズで 9 日間ホームステイし、ケアンズ高校での語学学習や、地元生徒との交流を通じ、貴重な体験をしました。

応援しています！～寄付者の声～

- 有田市が元気であり続けますよう、応援します。
- 子どもがすこやかに育つところになってほしいです。

感謝しています！～住民の声～

- 全国からの応援、ありがたく思います。
- おかげさまで蔵書が増え、いろんなジャンルの本が充実していて、ここへ来れば目当ての本が見つかります。
- 視聴覚資料も充実していて、ありがたいです。

鳥　　取　　県

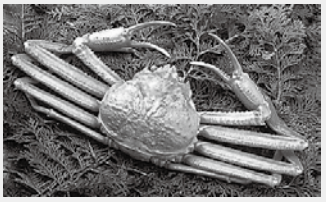
青く澄み渡る日本海、緑豊かな山々。鳥取県は豊かな自然に囲まれています。
こうした環境の中で、二十世紀梨をはじめ、数々の農産物が生産され、新鮮な海の幸が水揚げされます。
自然との共生が、氷温技術など独自の新技術を生み、付加価値の高い産業を支えています。

〔人口〕　５７３，４４１人（H27.10.1）
〔面積〕　３，５０７㎢
〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕
９，１５２件　２０５，６３０千円

「鳥取砂丘」
鳥取の代名詞でもある日本最大級の海岸砂丘。風が吹くたびに変わる砂の姿は自然がつくりだす芸術です。

「大山」
中国地方最高峰の山。広大なブナ林や野鳥や草花の群落など手つかずの自然が残っています。

「二十世紀梨」
ひとくち口に含むと、そのみずみずしさと甘酸っぱさが絶妙な初秋の味覚の王者。生産量全国一です。



「松葉がに」
冬の味覚の王様。鳥取県西部に位置する境漁港は、松葉がにを含むカニ類の水揚げ量が日本一の港です。

智頭町から始まる「いのちね」の挑戦～『森の産院』事業～

都会でも産科不足が深刻で、お産が難しくなっている現代。少子化が進む今こそ妊娠期の女性が安心してきめ細やかなケアが受けられ、お母さんが幸せだと感じられるお産の場が必要であり、里山の風景や昔ながらの営みが残る鳥取県智頭町で、「安心・安全で、幸せなお産」ができる場を行政と事業者が一緒になって創造します。

母子が元気になれる古民家を！

築 100 年の古民家を地域のために改装

「森のようちえんまるたんぼう」と「いのちね」（自然分娩で有名な産院で助産婦長を努めていた岡野氏を中心とする組織）が連携して、出産前から、鳥取県智頭町の自然を活かしたお産・子育てをトータルでサポートする場（古民家を改装）を提供するため、ふるさと納税を活用して、古民家改装に向けた費用の一部を県が助成します。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

事業実施拠点『いのちね』をオープンするための費用に活用しています。
プロジェクトの実施スケジュールは、2018 年～：古民家リノベーションスタート、2019 年：女性と子どものサポートセンター『いのちね』拠点完成・オープンを予定しています。
改築後の古民家間取りイメージ：【１階】囲炉裏部屋／イベントルーム／相談室／施術室／ダイニング／キッチン／トイレ【２階】宿泊部屋／ダイニング／キッチン／風呂／トイレ

応援しています！～寄付者の声～

- 鳥取県から始まるこの活動が全国に広まることを期待しています！
- 智頭町の自然の中でいのちのねっこが育っていくことを応援しています。
- 古民家の助産院、ぜひ作ってほしいです！

感謝しています！～事業者の声

- ここ鳥取県智頭町で、人が産まれ、育ち、羽ばたくその時々をいかに見守るかを考えながら、お母さんと赤ちゃんが本来持っている力を最大限に引き出すお産に力を注いでいきます。ご支援に、心より御礼申し上げます。

鳥取県

琴　浦　町

琴浦町は鳥取県のほぼ真ん中に位置し、南は秀峰大山から連なる山地に囲まれ、北は日本海に面したまちです。

琴浦町にある船上山は太平記の舞台にもなった山。春は桜に若葉、夏はキャンプや登山、秋は紅葉、冬は真っ白に染まる雪景色など、四季折々の表情で訪れる人を魅了してやみません。

〔人口〕　１８，２５５人（H27.10.1）

〔面積〕　１３９．９７㎢

〔ふるさと納税寄付額（Ｈ２９年度）〕

１１，７２７件　２８９，１７８千円

「船上山」

長い歴史と自然に恵まれた船上山。屏風岩と呼ばれる切り立った溶岩壁や鱒返しの滝なども見どころ。

「鳴り石の浜」

丸石が波にもまれて「カラコロ」と音をたてる珍しい浜。夕陽がきれいな、琴浦町のパワースポットです。

「松葉ガニ」

山陰沖で水揚げされる松葉ガニは、日本海の上質なうまみが凝縮されています。濃厚なカニ味噌も絶品。

「二十世紀梨」

日本一の生産量を誇る鳥取の二十世紀梨。上品な甘さ、繊細な肉質は正に秋の果物の王様にふさわしい味。

琴浦町の２大祭り「さくら祭り」と「白鳳祭」

船上山万本桜公園にて、第 27 回船上山さくら祭りを開催しました。町内外から約 2,000 人が来場し、大いに賑わいました。

この公園は、平成 26 年度にクラウドファンディングを実施し、桜の植樹を行った公園です。現在でもふるさと納税を活用し、桜の維持管理を行っています。

さくら祭りの様子

白鳳祭の花火

東伯総合公園にて、第 28 回白鳳祭を開催しました。県内ではめずらしいレーザーライトと花火のショーを見るために、たくさんの人が訪れました。

町内の地域団体などによる出店や、踊りや太鼓といったステージイベントもあり、大変賑わいました。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

船上山一帯は「船上山万本桜公園」と呼ばれ、琴浦町が誇る桜の名所です。しかし、集中豪雨などによる倒木などが増加し、訪れた方からはボリュームが小さくて残念との声が多く寄せられていました。

そこで、「万本桜公園」の名に恥じないような桜の名所へと復活させるため、平成 26 年にふるさと納税を活用したクラウドファンディングに取り組みました。約 130 本の桜を植樹し、現在でも桜の維持管理のためにふるさと納税を活用しています。

応援しています！～寄付者の声～

・さくら祭りへの招待チラシや、植樹した桜の成長した写真を見ると、自分のふるさと納税が生きたお金になっていると実感します。

感謝しています！～住民の声～

・思い入れのある、自ら植樹した桜の成長とネームプレートを見るために万本桜公園に来ることが家族の楽しみになっています。

岡山県

笠　岡　市

笠岡市は第６回住みたい田舎ランキング※中国・四国地方で第１位の住みやすい市です。

風光明媚な笠岡諸島、最先端の畜産農業を行う広大な干拓地、世界で唯一のカブトガニをテーマとした「カブトガニ博物館」を有した魅力あふれる市です。

※宝島社「田舎暮らしの本 2018 年２月号」

〔人口〕　５０，５６８人（H27.10.1）

〔面積〕　１３６．２４㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

５７，７９６件　８７８，４１４千円

「笠岡諸島」

様々な映画のロケ地となった笠岡諸島は、特色がある島々が連なっています。

「カブトガニ」

笠岡の海には『生きた化石』と呼ばれているカブトガニが生息しています。

「笠岡湾干拓地の花畑」

干拓地にある道の駅「べいふぁーむ」では、四季折々の花が咲き乱れています。

「笠岡ラーメン」

笠岡市民のソウルフード。鶏ガラだしの醤油スープに煮鶏のチャーシューが特徴です。

生きた化石カブトガニ　命を未来へ繋ぐために

笠岡市では、ふるさと納税を活用し、笠岡に生息する「カブトガニ」と天然記念物「カブトガニ繁殖地」の保護・啓発活動を行っています。

まず、保護活動の中心となるカブトガニ博物館の展示「カブトガニシアター」の新しい映像を作成しました。特に自然産卵のシーンはカブトガニの生態を知る上で欠かせない物となっています。

カブトガニの幼生放流

カブトガニ博物館

また、恒常展示の充実のみではなく、カブトガニと同じ時代を生きていた恐竜や、笠岡の海に生きる魚介類、古代魚の化石などをテーマにした特別陳列を行うことで、多種多様な視点からカブトガニへのアプローチを行っています。

その他、カブトガニの幼生飼育施設の修繕を行うなど、飼育環境の改善などを行いました。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

カブトガニの保護・啓発活動により、カブトガニ博物館の入館者数は増加を続けています（H27 61,088 人、H28　68,013 人）。ＨＰのアクセス数も急増し、多くの人にカブトガニと笠岡市を知ってもらうことができました。特に，カブトガニ博物館のマスコットキャラクターであるカブニとカブ海の結婚式と子どもの誕生は全国的にも珍しい行事であり話題になりました。カブトガニへの関心が高まることで、カブトガニが生きるための環境保護への意識が高まり笠岡市の自然の保護につながります。

応援しています！～寄付者の声～

- カブトガニが小さい頃から好きでした。是非一度お伺いします！
- カブトガニが永遠に生息できる日本でありますように。より多くの日本の子どもたちに笠岡の自然とカブトガニを直接見てもらいたい。

感謝しています！～住民の声～

- 来るたびに少しずつ、展示の内容が変わっているので楽しいです。
- カブトガニの幼生放流を体験して。干潟の環境を整えることが大切だと思いました。

岡 山 県

吉 備 中 央 町

岡山県のど真ん中にある吉備中央町は、農業が盛んな町で、ふるさと納税で人気のおいしいお米をはじめ、高原野菜や果物など豊かな自然に育まれた特産品がたくさんあります。

ふるさと米の育つ田んぼ、畑、山あいの風景を見ながらゆっくりと、心安らぐ時間を過ごしに来てください。

〔人口〕　１１，６１１人（H30.8.1）

〔面積〕　２６８．７８㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

２５，２９９件　６６９，６６４千円

「ピオーネ」

昼夜の温度差が大きいため、甘くて着色の良いぶどうができます。

「コシヒカリ」

ふるさと納税で大人気なお米！寒暖の差がある気候と、きれいな水に育まれたお米は絶品です。

「アストロコテージガリレオ」

宿泊可能な天体観測施設。口径３００㎜の反射式天体望遠鏡を設置しています。

「農家民宿」

雄大な自然の中での農業体験とあたたかい人のぬくもりを感じてみませんか？

リトレーニングが引退馬の未来を拓く

吉備中央町では、メンタルヘルスタウン構想として、癒しのまちづくりを推進しています。引退馬支援サンクホースプロジェクトは、リトレーニングされた馬を使った乗馬体験や、馬と触れ合うことで癒されるホースセラピーなどが行われる内容であり、町の構想とも合うため、ふるさと納税制度を活用して取り組むこととなりました。

全日本大会チャンピオンになった引退サラブレッド

リトレーニングセールｉｎ吉備高原 馬術大会

今では、毎月 50 名を超える方々が関東や関西から岡山乗馬倶楽部へ訪れています。競馬場を賑わせた競走馬が吉備中央町でリトレーニングされ、再び全国の乗馬倶楽部や団体で活躍している馬は２年間で 50 頭を超えました。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

町内外より癒しを求め乗馬に来られる方が多くなり、今まで殺処分されることの多かった引退馬の命を救うとともに、約 50 頭の馬にセカンドキャリアの場を提供し、リトレーニングセールを実施することで、引退馬を全国の乗馬クラブ等へ提供しました。

応援しています！～寄付者の声～

- 一頭でも多くの馬が幸せな余生を過ごせますように。
- みんなの夢を背負って生まれてきたすべての馬が、幸せに一生を終えられるように応援しています！

感謝しています！～住民の声～

- サラブリトレーニングで来た馬とふれあうことで命の大切さを感じられて、馬に癒されることで優しい気持ちになれます。

徳島県

鳴　門　市

鳴門市は四国の東部、徳島県の東北部に位置しており鳴門海峡を隔てて淡路島に対峙し、本州と結ぶ四国の東玄関をなしている。特に当市の北部は瀬戸内海国立公園に指定され、北に播磨灘、東に紀伊水道をのぞみ、鳴門海峡の急流と逆巻く渦潮でその名を知られた景勝地です。

〔人口〕　５９，１０１人（H27.10.1）

〔面積〕　１３５．６６㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

１３，０８６件　３１８，３４６千円

「鳴門のうずしお」

鳴門といえば渦潮。観潮船や橋から直接覗くこともできます。ぜひ一度ご覧ください。

「鳴門金時里むすめ」

多くのミネラルを含んだ土壌で育った鳴門金時里むすめ。甘さ際立つ自慢の一品です。

「鳴門市ドイツ館」

アジア「第九」初演の地である鳴門。鳴門と「第九」の歴史を知ることができます。

「四国八十八箇所巡礼」

四国八十八箇所の一番札所である霊山寺。四国八十八箇所巡礼は本市から始まります。

コウノトリ　周辺整備事業

平成２９年３月、鳴門市大麻町に飛来していた、国の特別天然記念物「コウノトリ」が、昭和４６年以降兵庫県以外では全国初となる自然繁殖をしました。

コウノトリの雛が誕生したことにより、雛を見るため多くの方が巣の周辺を訪れるようになりました。

親鳥とひな３羽

蓮の葉とコウノトリのつがい

周辺を訪れる方が増えたことにより、コウノトリの安全を守るためよりいっそうの環境整備が重要であると考え、エサ場の整備や観察のルールを作り、ガードマンを配置するなどの周辺整備事業を行いました。

これにより、コウノトリが安心して安全に住み続けられるまちづくりを目指しました。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

コウノトリのエサ場の整備や観察のルール作り、またガードマンを設置することで、コウノトリが安心して安全に住み続けられるまちづくりを行った結果、２羽の親鳥と３羽のひな鳥がすくすくと育つ環境が確保できました。そして、平成２９年６月、３羽のひなが兵庫県豊岡市周辺以外では全国初となる「巣立ち」を迎えることができました。

また、平成３０年３月には新たにひなが２羽誕生し、すくすくと成長しています。

応援しています！～寄付者の声～

- コウノトリの舞う空を見てみたいです。
- 鳴門の空にコウノトリがたくさん舞いますように。

感謝しています！～住民の声～

- 雛３羽が失われることなく巣立ち、本当に嬉しかったです。
- 来年もひなが誕生するといいですね。

高　　知　　県

高知県は太平洋に面し海のイメージが強くありますが、森林率も日本トップクラス。日照時間が長く温暖な気候の一方、降水量も多いことから、四季折々のおいしい食材や生活文化、独自の気風を育んできました。

また坂本龍馬をはじめ、多くの偉人も高知県から世に出ています。

〔人口〕　７２８，２７６人（H27.10.1）

〔面積〕　７１０３．９３㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

４９９件　２８，３４４千円

「坂本龍馬像」

高知県の代表的な景勝地・桂浜の近くで太平洋を眺めています。桂浜の近くには県立坂本龍馬記念館も。

「カツオ料理」

カツオのたたきはもちろん、刺身や土佐巻きなど様々な食べ方で本場高知のカツオ料理が楽しめます。

「よさこい祭り」

毎年８月に高知市で開催。県内外、さらには海外からも踊り子が参加し、まちは祭り一色になります。

「四万十川」

「最後の清流」との異名を持つ日本を代表する清流を、ぜひ見に来てみてください。

ふるさとの文化と子どもたちを守り育てる

高知県では、ふるさと納税を大きく４つの分野に分けて活用しています。そのうち「ふるさとの文化と子どもたちを守り育てる」分野として、以下の平成２９年度の事業に活用させていただきました。

一つ目は「山内家資料保存事業」です。国の史跡に指定され貴重な文化財である土佐藩主山内家墓所の整備を行いました。

支障木の伐採・除去作業の様子

郷土史に関する出前講座

二つ目は「ふるさと教育推進事業」として、専門性や広域性を生かして地域活動をしている２つの団体への助成を行いました。また、坂本龍馬についての学習教材を作成し、県内小学生に配布するとともに、県内の郷土史に関する調査・研究をまとめた冊子「土佐史談」を県内高等学校等に配布しました。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

文化財保護の観点から早急に保全の必要が生じていた土佐藩主山内家墓所。今回、支障木の伐採・除去を行ったことで墓標等への樹木による被害を未然に防ぐことができました。

「ふるさと教育推進事業」では、お遍路さんの接待を通して子どもたちのおもてなしの心を養うことができました。県内の小学生に坂本龍馬に関する学習教材「坂本龍馬を知っちゅう？」の作成・配布を行い、ふるさとへの理解を深めることにもつながりました。

応援しています！～寄付者の声～

- 家族や親類が住んでいます。故郷の文化、教育、福祉の向上を願っています。
- 未来を担う子供たちの教育環境をよろしく。
- 元気な高知県を守っていくため、これからも頑張ってください！

感謝しています！～関係者の声～

- すごく嬉しくて温かい気持ちになりました。本当に素敵な取り組みだと感じました。

（地域の子どもたちから接待を受けたお遍路さんからの感謝の便りより）

高知県
越　知　町

越知町の中央を流れる清流「仁淀川」と、日本で最も古い地質の「横倉山」がシンボルの越知町。平成 30 年 4 月には日本のアウトドア会社である「snow peak」のキャンプフィールドもオープンし、豊かな自然を生かした“アウトドアな町”です。

〔人口〕　５，７９５人（H27.10.1）

〔面積〕　１１１．９５㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

７，６８５件　１３０，４３０千円

「仁淀川と横倉山」

水質日本一にもなった奇跡の清流と、日本最古の化石が発見された神秘の山の風景です。

「宮の前公園」

「町の花」でもあるコスモス。毎秋開催されるコスモス祭は多くの観光客で賑わいます。

「土佐文旦」

爽やかな酸味・甘さと、プリプリの果肉が特徴の文旦。至高の逸品です。

「芋けんぴ」

国内産のさつま芋を使用。一度食べたらやめられないおいしさが魅力です。

築七十年の日本家屋を改装したゲストハウス

越知町は観光資源は多いですが、宿が少ない町です。

そこで、東京から地域おこし協力隊として 3 年間活動した金原隆生さんが、協力隊卒業後も越知町に定住し、標高 400mの山にある古民家を改修して、古き良き日本の田舎をコンセプトにしたゲストハウスオープンを決意しました。

ゲストハウス縁-en-（完成後）

オーナーの金原さん（通称：金ちゃん）

越知町では金原さんのゲストハウス立ち上げを応援するため、クラウドファンディングで寄附金を募り、ゲストハウスの露天五右衛門風呂や囲炉裏、蚊帳などの設備費用に活用しました。返礼品は手ぬぐい、ステッカーといった記念品のみであるにも関わらず、283 名の方から約 300 万円の寄附をいただくことができました。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

ゲストハウスオープン後、宿泊に多くの方が訪れており、町の観光客数増にも貢献しています。

また、リピーターも多くロコミでの宿泊客も増えており、オーナーの金原さんが各地の講演会に呼ばれるなど、越知町のＰＲに大きく貢献しています。

応援しています！～寄付者の声～

・「越知町はいいところだよ」と知人に聞いたので、いつか行ってみたいと思います。人が集まり、“縁”が繋がり、楽しい花が咲き、豊かな実を結ぶ、そんなゲストハウスになりますように！応援しています！

感謝しています！～住民の声～

・町の人気者である金ちゃんが定住を決意してくれて本当に嬉しいです！オープンしてから毎年宿泊しています！町で見かけたら笑顔で声をかけてくれる金ちゃんを、これからもずっと応援しています！

高 知 県

四　万　十　町

四万十町は日本最後の清流といわれる「四万十川」のまち。海、山、川の自然環境に恵まれ最近は生姜の生産量が全国１位となり、高南台地の気候を活かしたお米の栽培や酪農が盛んです。多大な降雨量を支える山では、古くから林業も営われ四万十ヒノキは良質な木材として有名です。

〔人口〕　１８，１８１人（H27.10.1）

〔面積〕　６４２．３０㎢

〔ふるさと納税寄付額（Ｈ２９年度）〕

７９，７５１件　１，２７０，８６９千円

「四万十川」

四万十川の大部分が、町内を流れます。アウトドアや沈下橋などの景観を楽しまんと。

「小室の浜海水浴場」

環境省選定快水浴場百選の一つ。美しい砂浜と海はサーフィンや磯釣りも楽しまんと。

「天然アユ」

四万十川の恵み。食だけでなく伝統の火振り漁は見応えがあり、友釣りは釣りファンの憧れ。

「仁井田米」

標高２００m高南台地で育ったお米は、寒暖差から甘く美味しいお米となり、有数の米どころ。

魅力ある教育環境づくり　町営塾「じゆうく。」の挑戦

今後のまちづくりを支え社会で活躍することができる子どもの育成を目指し、平成２８年に町営塾「じゆうく。」を設置し、地元高校に通う生徒の多様な学びを支援しています。地域に愛着と誇りを持ち、新たな価値を創造できる子どもたちを育んでいきます。この取り組み全額に、ふるさと納税を活用し、事業を推進しています。

じゆうく。フェスタ

グループ学習

放課後の学びの場である「じゆうく。」では、個別面談による学習支援や学習計画づくりのほか、探究学習や課外活動等を通してキャリ教育支援にも取り組んでいます。

・くぼかわ教室、しまんと教室
・スタッフ７名（塾長・講師）
・通塾届 79 名
（窪川高校 47 名、四万十高校 32 名）

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

町営塾「じゆうく。」では、中山間地域の地元高校（窪川高校と四万十高校）に通う生徒に対し、学ぶ意欲の醸成や自立学習支援のほか、多様な価値観に触れあう機会も設け、将来への目標づくりや社会の多様性もはぐくみ、それぞれの学力向上の成果と希望進路の実現につながっています。

皆さんの支援により、存続危機にある地元高校の持続可能な魅力づくりから地方創生の一翼を担う生徒たちをはぐくむ教育環境づくりを進めることができています。

応援しています！～寄付者の声～

・故郷を守り元気にする人づくりを応援してます。
・これからも人づくりや物づくりを頑張ってください。
・四万十川の自然を尊重したまちづくり、人づくりに期待しています。

感謝しています！～住民の声～

・「じゆうく。」への通塾により、学習量が飛躍的に伸び、成績はアップ。海外留学を経験したいという夢も叶うことになりました。将来に向けた目標も決まり、その学習方法についてのアドバイスもしていただいています。

佐賀県

上　峰　町

佐賀県東部にある小さな小さな町・上峰町。町の北部には豊かな自然を楽しめる鎮西山がそびえたち、南部にはのどかな田園風景が広がる、今なお日本の原風景をそのままに残す数少ない場所です。伝統芸能の米多浮立や風味豊かなさがびよりなど、豊かな土壌が豊かなまち・ひと・ものを育みます。

〔人口〕　９，２３８人（H27.10.1）

〔面積〕　１２．８０㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

５１０，４５３件　６，６７２，２６９千円

「鎮西山」

平安時代の武将、源為朝が鎮西八郎として九州平定の際にこの山頂に城を築いたことに由来します。

「米多浮立」

江戸時代から米多地区に伝わる民族芸能で天衝舞浮立の一種。２年に一度、老松神社秋祭に奉納されます。

「佐賀牛」

柔らかな赤身ときめ細かな霜降り。最高級和牛の味は全国でも大人気です。

「さがびより」

佐賀が誇る安心・安全なブランド米。８年連続特Ａ評価の味は、食べた瞬間に甘味がフワッと広がります。

ふるさと納税で魅力あるまちづくり

上峰町では、ふるさと納税を活用して、町の魅力を発信するための２つのイベントを開催しました。１つ目は、平成３０年１月に上峰町にて将棋の棋戦で、８大タイトル戦のひとつである「王将戦」を開催しました。前夜祭や大盤解説会を行い、県外から多くの方が来町され、上峰町を知っていただくきっかけとなりました。

王将戦

つばきの森トレイル

２つ目は、平成３０年２月に上峰町の観光資源である鎮西山を中心とした野山を走るスポーツであるトレイルランニング大会「上峰町つばきの森トレイル」を開催しました。一般コース１０７名、リレー５チームの計１３２名の参加があり、上峰町の自然豊かな魅力を大いに PR できました。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

町内の空家対策につなげるための空家調査および空家情報システムを導入しました。また、自主避難所開設のお知らせなど災害に関する情報や気象警報、避難情報、Ｊアラートの内容等、緊急時の情報伝達の備えとして、防災行政無線施設の整備および防災行政無線戸別受信機の貸し出しを行いました。そして、小学５・６年生に対して、マンツーマンによるオンライン英会話の実施や、小・中学校に電子黒板を設置して、ICT の利活用により授業の効率化を図りました。

応援しています！～寄付者の声～

- 魅力的な街づくりに期待しております。
- 毎年注目の町でとても頑張っておられるのが伝わります。納税するものとしてとても嬉しく思います。これからも益々のご発展を期待しております。

感謝しています！～住民の声～

- ふるさと納税で上峰町が全国で有名になり、町民として誇りに思います。
- 全国からたくさんの方が上峰町を応援していることが、とてもうれしいです！

長崎県

大　村　市

大村市は長崎県のほぼ中央に位置し、緑豊かな多良山系と、「琴の海（ことのうみ）」と称されるほど波静かな大村湾に囲まれた都市です。

豊かな自然に恵まれ、世界初の海上空港である長崎空港や高速道路インターチェンジなどの交通アクセスの利便性から、大変住みやすいまちです。

〔人口〕　９２，７５７人（H27.10.1）

〔面積〕　１２６．６４㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

６，２２４件　３９４，１９０千円

「大村公園（玖島城跡）」

日本さくら名所１００選の地に選ばれている桜の名所です。

「大村寿し」

500年の歴史を持つ、海の幸、山の幸に恵まれた、大村ならではの伝統的な郷土料理です。

「ゆでピーナッツ」

正式名称は塩ゆで落花生。大人から子供まで一度食べ始めたら止まらない大村人の必須食アイテムです。

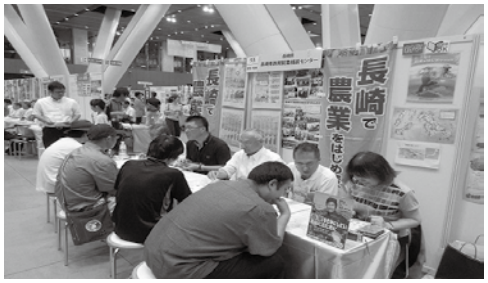
「大村キリシタン哀史」

日本初のキリシタン大名大村純忠が治めていた地で、殉教の哀史をとどめる遺跡が数多く残されています。

大村の農業を新たに担う「担い手」づくり

大村市では農業を新たに担う「担い手」づくりに対する支援を行っています。

新・農業人フェアへの出展、農学系大学生等への PR を行い新規就農者の獲得を図り、大村で就農を希望する方に対し、農業士等先進農業者による技術習得研修などを通して担い手の育成を行っています。



新規就農相談の様子

新規品目のプロジェクト活動の様子

また、新規就農にチャレンジされる方を対象に、貸付や「経営開始支援事業補助金」による施設設備に係る経費の 1/2 の補助を行い就農への取りかかりの支援を行っています。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

新たに担い手となる後継者の育成に対する「農業後継者育成支援事業」では、研修に係る費用の支援を行います。

また、「経営開始支援事業補助金」では就農への支援として施設設備にかかる経費の 1/2 を補助しており、平成 29 年度は農業用機械導入費、ハウス移設経費などに活用しました。

応援しています！～寄付者の声～

- 一人でも多くの優秀な若者を育てるために、お役立てくだされば幸いです。
- 送っていただいたミカンがとっても美味しかったです。農産品の産業がますます発展されることを期待します。

感謝しています！～住民の声～

- 農業の大先輩から一から手ほどきを受け、併せて就農時の初期投資に対する支援があったので、安心して就農が出来ました。大村の農業の新たな担い手として経営を確立し、恩返しをしたいと思います。

長崎県
平　戸　市

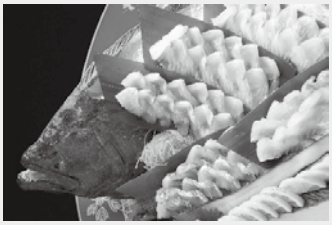
平戸市は九州本土の西北端に位置し、平坦地が少なく起伏の多い地形で、自然景観が美しい「まち」です。
また、平戸城やキリスト教関連遺産、あご(飛魚)をはじめ、平戸和牛やイチゴ、ヒラメ、ウチワエビなど、豊富な地域資源に恵まれ、それらを活かした農林水産業や観光業が主な産業となっています。

〔人口〕　３１，９２０人（H27.10.1）
〔面積〕　２３５㎢
〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕
１７，０８４件　１，０７３，８０４千円

「平戸城」
平戸城は、平戸瀬戸に突出した城で、天守閣からの眺めはすばらしいです。

「寺院と教会の風景」
教会と寺院が交差し、日本と西洋の文化を感じさせる平戸を代表する景観のひとつです。

「平戸牛」
平戸牛の特徴である細かな霜降りは、上質な脂で、そのファンは全国に広がっています。



「ひらめ」
荒波に揉まれたひらめは、コリッコリッと身の締まった品のよい白身が特徴です。

平戸市の高校生に国際交流のチャンスを！

平戸市では、平戸オランダ商館の復元を記念して、2011 年にオランダ・ノールトワイケルハウト市と姉妹都市協定を締結しました。
これをきっかけに、2012 年から市内在住の高校生を対象に、ノールトワイケルハウト市にホームステイし、オランダの教育や異文化を体験する短期留学事業を行っています。

ノールトワイケルハウト市での風景

平戸城天守閣にて

この短期留学に参加する高校生は、オランダからの留学生のホームステイを２週間受け入れ、高校生だけではなく、家族も一緒に交流しています。こうした互いの生活に密着した文化交流は、高校生たちの貴重な学びの場となっています。
寄附者の方には、活動の内容とお礼の手紙を送付しています。（希望者にはチューリップの球根も。）

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

平成 29 年度は 12 名の高校生がノールトワイケルハウト市への短期留学に参加しました。高校生１人あたりの参加費用については、１人当たり参加者の負担は従来１／３程度でしたが、ガバメントクラウドファンディングを活用することによって、１人当たり負担を１／10 程度まで下げることができ、参加者の経済的な負担軽減につながりました。また、軽減分を受入費用など他の経費に充てることが可能となり、保護者も安心して参加させることができました。

応援しています！～寄付者の声～

・私も高校生の頃に海外で短期のホームステイを経験し、それが得難い経験になったと感じています。心ばかりではありますが、平戸の高校生の皆さんが大きく羽ばたく一助になれれば幸いです。

感謝しています！～住民の声～

・留学先のクラスには、真面目な人がいればふざける人もいて、日本人と全く変わりませんでした。一緒にいろんな行事で盛り上がり、すっかり壁もなくなっていました。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました！

熊本県
錦　　町

錦町は熊本県の南、四方を九州山地に囲まれた人吉盆地にあり、古くから「隠れ里」として独特の文化と風習を受け継いできた、歴史と自然豊かな里です。また、この地で育つフルーツは盆地特有の気候もあり、みずみずしく甘いことが特徴です。ぜひ一度お越しください。

〔人口〕　１０，７６６人（H27.10.1）

〔面積〕　　８４．８７㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

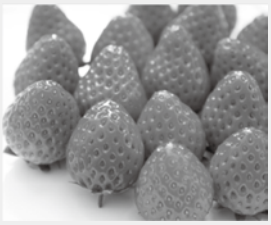
２，２６９件　３９，５９３千円

「錦の桃」

果汁たっぷりで香り豊かな甘くておいしい桃を是非お召し上がりください。

「錦の梨」

人吉球磨の自然を活かした気候で育った甘くてみずみずしい梨をお試しください。



「錦のいちご」

自然豊かな環境で採れた、おいしい錦のいちごです。

「黒ホルモン」

創業時から変わらぬ製法で焼き上げ秘伝のタレで味付けをした伝統の黒ホルモンです。

２０年前の旧日本海軍の遺跡を保存活用

錦町では、３年前に発見された人吉海軍航空基地跡について、資料館の整備計画がスタートしました。人吉海軍航空基地跡には、魚雷調整場、兵舎壕、作戦室・無線室等の施設が確認され、現存する施設の種類としては日本最大級の種類を誇ります。ふるさと納税の寄附金の用途を、この資料館建設に充てられないか考え、募集を行いました。

魚雷調整場

ひみつきちミュージアム

2018 年８月にオープンしました「錦町立人吉海軍航空基地資料館～山の中の海軍の町にしきひみつきちミュージアム」の建設費の一部に活用致しました。オープンから順調に来館いただき、１ヶ月で来場者数は3,000 人を越え、錦町のＰＲにも貢献しました。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

全国から遺品や資料の寄付が集まる中、展示をするための施設の計画がもちあがり、メニューに組み込んでいた人吉海軍航空基地跡の保存・活用に関する事業へ寄付を頂いた方の寄附金を使用させて頂きました。おかげさまで、平成３０年８月１日に待望の「錦町立人吉海軍航空基地資料館～山の中の海軍の町にしきひみつきちミュージアム」をオープンさせることができました。

応援しています！～寄付者の声～

- 父が元予科練でした。当時の記憶を風化させない施設を作っていただき、父も喜んでいると思います。

感謝しています！～住民の声～

- 思いもよらない「海軍の遺産」という地域資源で町の活性化がはかられました。
- 多くの人に町に来てほしいです。

熊 本 県

あ さ ぎ り 町

あさぎり町は熊本県の南部に位置し、のどかな田園風景がひろがる、自然豊かな町です。基幹産業は農業で、米や畜産、園芸作物がさかんです。

「日本七大薬師」の「谷水薬師」や「幸福」がつく駅「おかどめ幸福駅」があり、健康と幸福のまちづくりを進めています。

〔人口〕　１５，５２３人（H27.10.1）

〔面積〕　１５９．５６㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

１，３０６件　２７，９５０千円

「谷水薬師」

日本七大薬師の一つ。健康祈願や病気平癒を願う人からの信仰が厚い。

「おかどめ幸福駅」

現役の駅で駅名に「幸福」の名前がつくのはあさぎり町の「おかどめ幸福」駅だけです。

「球磨牛黒毛和牛　牛肉」

町内の畜産農家が愛情込めて育て上げた黒毛和牛。風味がよく柔らかい口あたりの良いのが特徴です。

「あさぎり町の栗」

球磨盆地の寒暖差のある気候の中、山間の斜面で太陽の光をたっぷり浴びて、甘く濃厚な味わいが特徴です。

健康で幸福な町　あさぎり町

ふるさと納税を活用し、あさぎり町に住んでいる町民の方に赤ちゃんが誕生したら、町から出生祝い金を助成しています。

生まれてくる赤ちゃんが、誕生後、元気で健やかに成長してくれるようまた、町民の方が安心して出産できるよう「出生祝い金」の財源として活用されます。

「すくすく育っています」

「離乳食」も進み元気いっぱいです。

赤ちゃん検診でもすくすく育った様子が見られ、検診時も和やかな雰囲気です。

すくすく育った赤ちゃんは、お母さんと一緒で安心し、離乳食も進みます。

健やかに成長する子どもたちが未来へ大きく羽ばたいてくれることを願います。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

赤ちゃんが誕生することは、とても嬉しくありがたいことです。誕生後、親子一緒に穏やかに安心して過ごせています。

さらに、赤ちゃんの健やかな成長を願い、町からのお祝い費用としています。

応援しています！～寄付者の声～

- たくさんの元気な子どもが巣立つように活用してください。
- 子どもたちの住みよい町づくりのために。
- 親が介護等でお世話になっています。感謝の気持ちを込め寄附いたします。

感謝しています！～住民の声～

- 出費がかさむ時期、とてもありがたいです。

大分県

佐　伯　市

佐伯市には豊かな自然が残っています。風光明媚のリアス式海岸と雄大な原生林の茂る祖母・傾山山系はいずれも国定公園です。また、清流「番匠川」は、源流から河口まで全てが佐伯市を流れます。人々の生活の中に自然があり、海・山・川から多くの恵みを受け、美しい四季の移ろいを感じるまちです。

〔人口〕　７２，２０３人（H27.10.1）

〔面積〕　９０３．１１㎢

〔ふるさと納税寄付額（Ｈ２９年度）〕

２３，９６８件　１，３５０，２１２千円

「佐伯城三ノ丸櫓門」

豊後佐伯城の現存する唯一の遺構です。佐伯観光の最大のシンボルでもあります。（大分県有形文化財指定）

「豊後二見ヶ浦」

初日の出スポットとして人気の場所です。夫婦岩を結ぶ大しめ縄は、長さ約６５m、重さ約２トンです。

「干物」

全国的に知られる佐伯の干物は、伝統的な海の幸として、大切に受け継がれています。

「ごまだし」

佐伯の漁師町に伝わるごまだしは、地元の魚で作る調味料です。うどんに入れて食べると相性抜群です。

ユネスコエコパークを活用したまちづくり

佐伯市は、2017 年６月 14 日「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」に登録されました。登録時点では、日本国内で ９ 箇所目になります（世界 669 箇所）。

ユネスコエコパークとは、生態系の保全と持続可能な調和（自然と人間社会の共生）を目的に 1976 年からユネスコが開始した事業です。

宇目地域から望む傾山

キャニオニングを楽しむ

これからは、世界的な認証地域として、自然を保全する学術的な研究・調査活動はもちろんのこと、ツーリズムの展開やアウトドアイベントの開催、郷土芸能文化の保存・継承、有機的農産物の開発などに取り組んでいきます。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会では、安全・快適に登山を楽しんでいただくため、山歩きの手引きを作成し、配布しています。また、キャニオニングやトレッキング、キャンプなど、祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの豊かな自然を活かしたアクティビティーを実施しています。

さらに、次世代を担う小中学生も自然観察やキャンプを行い、祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの活動理念である「自然との共生」を頭で考えるだけでなく、体で感じることができています。

応援しています！～寄付者の声～

- 豊かな自然を未来に渡って維持するための一助になれば、幸いです。
- 豊かな自然に憧れます。いつまでも素晴らしい自然を守ってください。
- 佐伯市の綺麗な自然にまた会いたいです。

感謝しています！～住民の声～

- 地元にこんなにすばらしい自然があるとは知りませんでした。
- この豊かな自然を大切に守り、育てていきたいと思います。

宮崎県

新　富　町

東京ドーム約460個分の農地がある農業の町。国内に1%しかない国産ライチを始め、野菜や果物、ローカルブランド牛肉、鶏卵にウナギなど、多彩な農畜産物が揃います。温暖な気候に恵まれ、日本でも有数の速さで収穫される超早場米の生産地としても知られています。

〔人口〕　約17，000人（H27.10.1）

〔面積〕　61．7㎢

〔ふるさと納税寄付額（H29年度）〕

45，781件　908，364千円

国産ライチ

1粒1000円でブランド化し、都市部を中心に好評いただいている国産ライチ。

JAこゆ牛

JA児湯の生産者さんが一生懸命に作られているローカルブランド牛「JAこゆ牛」。

野菜・果物定期便

ふるさと納税では多彩な野菜と一年中さまざまな種類が収穫される果物の定期便も評判です。

新田原古墳群

「新田原（にゅうたばる）古墳群」は2018年に日本遺産に認定されました。

一般財団法人の地域づくり活動を推進

新富町では、一般財団法人「こゆ地域づくり推進機構」にふるさと納税に関する事務を委任し、併せて収益で得られた財源をもとに、地域づくりを進めるための事業を進めるよう支援しています。

「起業家育成事業」では、地域の課題をビジネスで解決し、地域に経済をつくりだせる人財を育て､H29年度は地元若手農家らを中心とした受講生や聴講生らのべ500人を輩出。希少品種のキュウリを共同栽培するプロジェクトなどが生まれました。

起業家育成事業

地元小学生への後援

また、地域の将来を担う子どもたちへの投資も行なっています。

2020年より必修となるプログラミング教育を行う教室を創出したり、商店街を舞台にした「こゆ朝市」を開催するなど、地域愛を育む活動を進めています。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

それまでごくわずかな生産者さんが10年以上も苦労を重ねながら作り続けてきた国産ライチ。国内に1%しかないその希少価値と圧倒的に高い品質をブランド化し、ふるさと納税の返礼品として全国にお届けしました。その結果、たくさんのお申し込みをいただいただけではなく、実際に新富町に足を運んでライチ畑を見学してくださったり、その他の町の特産物や名所に価値を見出してくださるなどの効果が生まれました。生産者さんにも町のみなさんにも、本当に役立っています！

応援しています！～寄付者の声～

・初めて食べた生のライチの感動が忘れられません。もっと多くの人にこの味を知ってほしいと思います。来年もまた申し込みたいです！

感謝しています！～住民の声～

・住民の目線では気づかなかった農産物を気に入っていただけるのはとてもうれしく思います。これからも新富町を応援してください！

鹿 児 島 県

大　崎　町

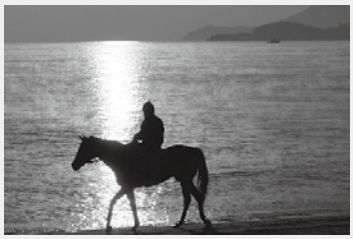
大崎町はごみのリサイクル率 11 年連続日本一のエコな町です。食料自給率は 400%を超えており「食の宝庫」の町でもあります。中でも鰻の養殖生産量が日本一の企業が立地しているほか、鶏肉の生産量も日本一です。豊かな自然の中で人と食が輝く結いの町です。

〔人口〕　１３，２３６人（H30.7.31）

〔面積〕　１００．６７㎢

〔ふるさと納税寄付額（H２９年度）〕

４７，１７４件　２，３１３，０５２千円



「競走馬のふるさと」

大崎町は未来ある若い馬や現役の馬が夢に向かってトレーニングを積む町です。

「セグウェイガイドツアー」

白砂青松100選のくにの松原内をセグウェイで散策するツアーが人気です。

「日本一の大崎うなぎ」

鰻の生産量日本一の企業が立地しており、全国各地へ美味しい鰻をお届けしています。

「鉢植え完熟マンゴー」

鹿児島随一のマンゴーの生産地であり、鉢植えで丁寧に育てられたマンゴーは絶品です。

地域資源を活かして　陸上競技の聖地に

本町では町のために努力し、町を誇りに思う住民の意識を今後も継続し、発展させていくためにふるさと納税の寄附金を活用しています。

今回、本町の地域資源を活用し、スポーツ合宿推進による交流人口の増大、地域経済の振興を図るために「陸上競技の聖地」実現プロジェクトを始めました。

日南海岸国定公園指定のくにの松原

クロスカントリーコースでの合宿

全国トップクラスの広大な松林「くにの松原」は白砂青松の景勝地であるとともに、防風・防砂林として「食の宝庫大崎町」の農地を永年にわたり守り続けてきました。近年、その松林が減少傾向にあり、景観が悪化するとともに、防砂林としての機能も減少しつつありましたが、プロジェクト実施により、松林を守り、観光資源として活用しています。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

くにの松原の美しい景観を保持するとともに、食を生み出している農地を守り続けることができています。また、クロスカントリーコースが整備され、日本最高クラスの環境でのトレーニングが可能になりました。これまで合宿に来ていなかった実業団等が合宿するだけでなく、トップアスリートによる陸上教室の開催などにより、地域の子ども達の身体能力向上やキャリア教育にも繋がっており、本町の重要な地域資源である松林が新たな活用により、町のシンボルとして輝いています。

応援しています！～寄付者の声～

- 地域の文化や産業を守っている自然を大切にして欲しい。（京都府・女性）
- 大崎町にたくさんの人が訪れ、活性化できるように、地域資源の魅力アップに使って欲しい。（東京都・男性）

感謝しています！～住民の声～

- トップアスリートの皆さんに会えたり、直接指導してもらえたりするので、私も全国レベルに近づけるように頑張りたいです。（陸上部員）
- 町外からのお客さんが増え、大崎の魅力を見つめ直す機会になりました。（飲食店経営）

ふるさと納税の健全な発展を目指す自治体連合事務局
（福井県総合政策部ふるさと県民局地域交流推進課）

〒910-8580　福井県福井市大手３丁目 17-１　電話：0776-20-0665